

2023年 第57号  
 とことん面倒見のよい学校  
 中央カレッジグループ

# 学園新聞

中央情報経理専門学校  
 群馬法科ビジネス専門学校  
 中央医療歯科専門学校太田校  
 専門学校 中央農業大学校  
 専門学校 中央情報大学校  
 高崎ビューティモード専門学校  
 中央動物看護専門学校  
 中央医療歯科専門学校高崎校  
 中央スポーツ医療専門学校  
 中央高等専修学校前橋校・桐生校  
 CRI 中央外語学院  
 資格の学校 TAC群馬校

中央カレッジグループ学園新聞編集委員会 <http://www.chuo.ac.jp>  
 〒371-0844 群馬県前橋市古市町1-49-1 TEL.027-253-1105(代) FAX.027-253-1124

## 企業や地域と多彩な教育連携

### 中央情報大学校×日本ルクソールシステム株式会社

#### 開発拠点DTCを設置 情報系4年制学科生の インターンシップで

中央情報大学校（CID、中島慎太郎理事長・学校長）は、3月1日、情報産業人材育成を目的にシステム開発などを担う日本ルクソールシステム株式会社（東京・亀井千博代表取締役）と教育連携覚書を結び、調印式を行いました。同時に、高度情報教育を学ぶ学生インターンシップに対応したデュアルテクニカルセンター（DTC）も同校隣接ビル内に設置しました。

同校と日本ルクソールシステムは、DTCを拠点に、プログラム開発やシステム開発を通して学生たちの実践力を高めていきます。

連携の背景には、情報産業界の人材不足があるとされ、「一企業の人材だけでなく、広く情報産業界に有能な人材を輩出するための教育の場にしたい」（亀井代表取締役）の思いと、「同校情報系4年制学科に学ぶ学生の実学実践教育の場を増やしたい。ただ、システム開発に伴う守秘義務などもあり、なかなか情報系の学生を受け入れ

多彩な専門学校を有する中央カレッジグループでは企業や団体、地域との教育連携事業に取り組んでいます。3月には特徴的な教育連携事業を発表しました。その概要を紹介します。



覚書に調印した中島理事長（右）と亀井代表取締役（左）

てくれる企業も少ない。今回の試みは、企業の具体的な実務を通じて、よりレベルの高い実践力を磨くことができる好機」（中島理事長）の意向が一致し、今回の調印となりました。

開発拠点となるDTCが、同校に隣接して置かれることで、授業とインターンシップ（職場教育）が両立できます。同校では、学習成果としてプログラム開発などの認定基準を満たした学生には、「デュプロマ（認定証）」を発行する予定。

### 中央動物看護専門学校×北軽井沢地域10団体

#### 酪農や観光など 学ぶフィールド 「キャンパス化」で 地域活性化に期待



教育連携調印式に臨んだ関係者（左から林学校長、中島理事長、眞下豊バイオトラスト軽井沢牧場相談役、福嶋誠北軽井沢観光協会会長、鈴木厚志軽井沢倶楽部ホテル軽井沢1130総支配人、萩原睦男長野原町長）

中央動物看護専門学校（CAN）は自然豊かな長野原町の北軽井沢地域10団体との包括的職業教育連携協定を3月14日に締結、調印式を行いました。本学園グループが、広い地域を対象に教育連携を結ぶのは初めて。

長野原町内で行われた調印式には、同校を運営する学校法人中央総合学園の中島慎太郎理事長、林康宏学校長、北軽井沢町観光協会の福嶋誠会長、眞下豊バイオトラスト軽井沢牧場相談役、鈴木厚志軽井沢倶楽部ホテル軽井沢1130総支配人と立ち合いの萩原睦男長野原町長が参加。会場には提携に参加する企業関係者も顔をそろえまし

た。協定概要によると、本学園及び中央動物看護専門学校は、「教育から地域に活力」をコンセプトに、「長野原町（北軽井沢地域）における人口減少に歯止めをかけ、生産年齢の若返りを図り、活力ある北軽井沢地域にしていきたい」との願いから、「北軽井沢キャンパス化計画」を立ち上げました。背景には、北軽井沢地域の強みである自然と酪農、自然との共存共生で築き上げてきた産業と観光素材があります（中島理事長）。これらの有望な資源を教育と掛け合わせるにより、新しいかたちの職業教育連携を目指すものです。

連携により、中央動物看護専門学校はもとより、グループ各専門学校の学生たちも「動物、自然、新エネルギー、産業、観光、歴史、経営、運営、コミュニケーション力」などをそれぞれのプロフェッショナルから学ぶことができます。同時に、若者のエネルギーで、地域社会の発展と活性化にも寄与することができます。

学生たちは、牧場やホテル、観光施設でのインターンシップを中心に取り組み、学園グループとしては職員研修や歩行ラリーの会場として北軽井沢地域を活用するなどできます。

#### 【提携先の10団体】

北軽井沢観光協会、一般社団法人嬬恋村観光協会、有限会社バイオトラスト軽井沢牧場、有限会社萩原牧場、上谷川牧場、株式会社COW GARDEN、株式会社人間牧場、軽井沢倶楽部ホテル軽井沢1130、プレジデントリゾート軽井沢、ホテルグリーンプラザ軽井沢  
**【協力】長野原町**



### 令和4年度卒業式

中央カレッジグループ9専門学校の卒業式が3会場で行われ、合わせて739人が、学んだ技術や資格を手に新たな世界に巣立っていきました。

各会場とも新型コロナウイルス感染対策に配慮しながら、久々に保護者や来賓を迎えて、厳かで華やかな式典となりました。

3月9日、群馬音楽センターで行われたのは高崎3校（中央情報大学校、高崎ビューティモード、中央医療歯科専門学校高崎校）の合同卒業式。合わせて429人が門出の日を迎

### 誇り胸に新たな世界へ 9校739人が巣立ち



◀前橋地区5専門学校合同の卒業式（ベイシア文化ホール）

▶中央医療歯科専門学校太田校の卒業式（マリエール太田）

えました。

16日には、太田市内の結婚式場で中央医療歯科専門学校（太田校）の卒業式が行われ、3年間の学習を修めた39人が卒業証書を手に入れました。

前橋地区の5専門学校（中央情報経理、群馬法科ビジネス、中央農業大学校、中央動物看護、中央スポーツ医療）の合同卒業式は、17日にベ

イシア文化ホール（群馬県民会館）で行われ、合わせて271人が、多くの資格を手に新たな世界に踏み出していきました。

各式典では、中島利郎学園代表、中島慎太郎理事長から、コロナ禍での学生生活を経てこの日を迎えた卒業生に、「学生生活で得た知識や技術、資格を財産に社会で頑張ってください」と激励の言葉が送られました。

学校法人 有坂中央学園

# CIA 中央情報経理専門学校

〒371-0844 群馬県前橋市古市町1-49-4 TEL.027-253-5544(代) FAX.027-254-0605

www.chuo.ac.jp



## 税理士科目試験や簿記1級 医療など高資格取得相次ぐ

中央カレッジグループ高資格合格発表会が2月4日、3年ぶりにホテルラシーネ新前橋で開催され、各種国家資格や高度な検定試験などに合格した学生たちが出身校や採用企業などの皆さんの前で紹介されました。

中央情報経理専門学校からは、診療情報管理士認定試験や診療報酬事務能力認定試験に合格した医療福祉秘書学科の35人、幼稚園教諭二種免許や保育士資格を取得した保育福祉学科の15人、税理士科目試験や日商簿記検定1

級に合格したIT会計ビジネス学科の4人、日本語能力試験N2に合格した国際ビジネス学科の2人、既卒を含む合計56人が対象となり、45人の学生が発表会に参加しました。

発表会では、日商簿記検定1級に合格した、IT会計ビジネス学科1年の新井悠叶さん、栗原琉日さんが、前橋商工会議所の金子昌彦会頭から賞状を授与され、学生たちの努力に対し祝辞をいただきました。



高資格発表会に参加した本校学生と指導の先生たち

### 診療情報管理士認定試験

## 16人全員合格果たす

2月に実施された第16回診療情報管理士認定試験（一般社団法人日本病院会主催）の結果が発表され、本校診療情報管理士専攻16人全員が合格し、合格率100%を達成しました。

同認定試験の全国合格率はここ数年60%台で推移しています。

#### 【合格した学生（出身高校）】

- 上原 美優（明和県央）
- 岡田 実穂（渋川青翠）
- 荻原未菜美（前橋育英）
- 川端 優和（伊勢崎商業）

- 木暮 真緒（伊勢崎商業）
- 小林彩千亜（高崎商業）
- 齋藤 有帆（伊勢崎清明）
- 田辺 倅菜（利根商業）
- 塚越 里佳（安中総合学園）
- 富田 眞矢（共愛学園）
- 西山菜々実（前橋商業）
- 前原 花奈（高崎商業）
- 真下 華帆（伊勢崎商業）
- 松村 瑞希（桐生市立商業）
- 村田 愛美（樹徳）
- 八木 愛子（前橋商業）

#### 【合格者の声】川端 優和さん

#### 多くの人たちに感謝

私はオープンキャンパスで診療情報管理士という職種があることを知り、「私も診療情報管理士になりたい!」と思い入学しました。診療情報管理士認定試験に合格でき、日々の勉強はとても辛かったけれどここまで努力してきた良かったと思えました。自分が勉強したことが試験で役立てたからです。試験合格のために一緒に頑張ってきた仲間、支えてくれた家族、先生方

に感謝の気持ちでいっぱいです。それが、専門学校いちばんの思い出です。

#### ▽後輩たちへメッセージ

以前の私は「自分にはできない!絶対に無理!」と思っていました。でも、私のように考えている皆さんも絶対にできます。大丈夫です。授業をしっかり受けて、やることをやれば大丈夫です。下向きになる時もあると思いますが、そんな時は我慢せず弱音を吐き、1度勉強から手を放し、外出したり、趣味を楽しんだり、リフレッシュして息を抜くことも大切です。努力してきたことには絶対結果がついてきます。

#### ゼミや実習で医療現場を知る 医療福祉秘書学科

本学科は、キャリアデザインゼミや実習を通じて医療現場を知り、理解を深める活動を行っています。その一部を紹介します。

#### ▽医療事務と病院について学ぶ

昨年12月9日に三重県志摩市にある志摩市民病院の院長、理学療法士、社会福祉士、医師事務作業補助の方々から「医療事務として患者さまや病院のためにできること」というテーマで講演していただき、講師の先生たちの、夢の実現のために努力する姿に感銘を受けました。

講演では、「医療事務がいなければ

病院は成り立たない」(病院長)の言葉に学生たちはチーム医療の中に自分たちも存在し、医療従事者の一員として患者さまのために共に働くということを実感しました。メディカルアシスタントの方からは「医師を助きたい」という強い気持ちを感じました。

#### ▽1年生が医療施設実習

1年生は、1月16日から2月4日の間で2週間の医療施設実習を行いました。

普段の学校での座学とは違い、実際に患者さまを相手に対応するため自分の医療に対する知識がいかに不足しているのか、接遇や応対を身につけることがどれだけ大切なのかしっかりと感じる事ができました。

### ● 日商簿記検定1級合格者インタビュー ●

高資格合格者のうち、日商簿記検定1級の合格者にインタビューしました。

IT会計ビジネス学科  
IT会計スペシャリスト専攻1年

新井 悠叶さん

(高崎商業高校出身)



IT会計ビジネス学科  
IT会計スペシャリスト専攻1年

栗原 琉日さん

(桐生市立商業高校出身)



#### 税理士試験に照準

念願だった日商簿記1級に合格することができ、努力が報われとてもうれしい気持ちです。初めて日商簿記検定1級を受験したのは高校3年生のときでした。その際は、合格には遠く及ばず悔しい気持ちになったため、専門学校では絶対に合格すると決めていました。毎日のようにテストがあり大変でしたが、常に良い点数が取れるように、授業中や自宅で1問でも多く問題を解くよう意識していました。高校生から簿記講座で授業をしていただき、専門学校に入学してからも熱心に指導してくれた雲越先生に感謝しています。

今後は税理士試験科目の簿記論、財務諸表論の合格を目標に学習に励みます。また、就職活動が始まりましたが、内定をいただくだけでなく、社会人としてふさわしい人になれるように努力していきます。

#### 学業とアルバイトを両立

試験の後はあまり自信がなく不合格になっていると思っていたので、合格と聞いたときはとても驚きました。初めのうちは実感が湧きませんでした。少しずつ合格できてうれしいという実感が湧きました。あきらめずに努力を続けて本当に良かったです。学校に通うためにアルバイトをしており、平日は夜遅くなるが多かったため、学校の授業は当たり前ですが、休日の復習も集中して頑張ろうと意識していました。両立は大変でしたが、絶対に合格したいという気持ちで乗り切ることができました。

私は2年制ではなく3年制に進もうと考えているので、今の授業で学習している簿記論、財務諸表論に合格した後も、税法科目に挑戦して1つでも多く合格していきたいです。社会人になる前に多くの知識が得られるように頑張ります。

栗原さんはアルバイトとの両立をしながらの勉強は大変だったと思います。合格の結果を見たときは本当にうれしく感じました。あきらめなければ必ず結果が出ることを改めて教えてくれました。今後は、税理士試験、就職活動と新たな目標に向かって、自信をもって歩みを進めてください。(雲越 幹久 先生)

#### 【担任コメント】

1級合格、本当におめでとうございます。新井さんは入学前から授業をしていたこともあり、このたび結果を残すことができ安堵したとともに、大きく成長したと感心しました。クラスの皆さんを引っ張る存在であったことも本当に感謝しています。

## 情報ビジネス学科

本学科の2年生28人は、昨年10月から専攻ごとに企業連携授業をスタートさせました。現場での学びを体験する連携授業の一部を紹介します。

### データ分析で顧客ニーズ把握

#### グローバルピッグファーム(株)

経理分野を学んできた15人は、10月からの3カ月間、渋川市にあるグローバルピッグファーム株式会社で、マーケティングの実践的な学びを経験しました。同社は、日本一の養豚を目指した「和豚もちぶた」の育成・販売などを手掛ける企業です。

授業では、主力商品の試食・工場見学・購買層の売上データ分析などを通じ、顧客が求めている価値を探りました。そして、学生ならではの視点で、売り上げに貢献する施策を考えました。

60～70代がメイン購買層というデータから、学生が提案したのは『同じ食卓を囲む子どもや孫世代に認知度を高めるためTikTokを活用する』とい



データをもとに売上貢献策を提案した

うもの。このコンセプトを軸にTikTok動画のコンテンツ作成に取り組みました。

会社紹介やダンス動画で会社の雰囲気や、おいしい豚肉の魅力や、おいしい豚肉の魅力を伝えるレシピ動画作成をする班など、自ら考えた企画を実施しインサイト分析で効果測定。就職してか

らも生かせる“考え方”を学んだ有意義な授業でした。

### HPの企画・設計などに協力

#### システム・アルファ(株)

ウェブデザインを学んできた13人は、前橋市にあるシステム・アルファ株式会社でお世話になり、ホームページ制作に伴う企画・設計をさせていただきました。同社は、Webシステム開発や販売管理システムのコンサルティング、情報セキュリティ構築などを行っている会社です。

授業の中では、マーケティングの観点から、お客様の要望や調査内容をまとめ、画面構成案を考えました。マーケティング手法のひとつである「ペルソナ分析」を用いて、閲覧してほしい



HPの画面構成案などを考える

ユーザーを設定して、具体的な人物像をイメージしていきました。

各グループとも、活発な意見や学生ならではのクリエイティブな発想も出ていました。

最後には、社員の方を目の前に、学生が考えた企画をプレゼンする場面も設けていただき、学生は緊張していましたが、質疑応答に受け答えする姿は頼もしく見えました。

社会人になる前に、企業に出向いて実際に働く経験ができ、学生たちにとって良い機会となりました。

## 家庭配置薬の 販売員に学ぶ

### 医薬販売学科

昨年開講した本学科は、在学中に登録販売者という公的資格が取得可能な2年制の学科です。

薬の販売には資格が必要であり、その販売方法の一つに配置薬業があります。置き薬という表現のほうが分かりやすいかもしれませんが、その実態を学ぼうと1月12日、クミアイ家庭薬の配置員さんに来校いただき、プロのお話を伺いました＝写真。

販売員の方からは、配置薬業ならではの特殊なルールや経験で得たノウハウを教えてください、まさに発見と学びの多い時間となりました。「この薬箱自体が小さな薬局なんです」と、笑顔で語る配置員さんが印象的でした。



置き薬の歴史は古く江戸時代から続いている販売方法で、使った分だけ精算し、定期的に補充をする仕組みになっています。定期的にお客様と会話する機会があるので、健康に対する良きアドバイザーとして活躍することができます。

学生たちは登録販売者の仕事の奥深さを再認識し、お客様に頼りにされる接客ができるようになりたいという目的意識も深くなったようです。登録販売者試験は今年の秋に実施されます。さらに知識を付け、全員合格を果たしたいと思います。

## 保育学生が学習成果披露

### 愛が詰まった舞台

#### 「魔法のランプ」上演

卒業研究のテーマに「愛」を。クラスで考えた結果、仲間や先生たちから感じた愛を「Aladdin(アラジン)」の劇にのせて伝えることになりました。

しかし、初めは、どうやって愛を伝えるのか、3年間で学んだことをどうストーリーに組み込ませるのか、何度も話し合いました。試行錯誤の日々で、気づいたら毎日、毎日、朝から夕方までみんなで教室にいるほど熱くなりました。

最終的には、クラス全員が一致団結し、全て一切手を抜かず、こだわりにこだわった最高の作品となりました。そして何より素晴らしかったのが「ク



卒業研究発表の劇上演を終えた学生たち

ラス愛」。その結果、本番当日は大成功。堂々と楽しそうに演じる姿に感動の拍手が鳴り響きました。

### 音楽授業の集大成

#### 緊張のピアノ発表会

保育福祉学科3年生の音楽授業の集大成「ピアノ発表会」が2月10日、緊張の中、行われました。

今年のクラスは、ほぼピアノ経験者がいない状態でスタート。音符の読みかた、リズムの取り方など一歩から始めました。その学生たちも、2年次には童謡の弾き歌いができるようになり、音楽の授業も加わってピアノだけでなく歌を楽しむ姿が増えました。

3年生になると、自分の好きな曲を選んで練習を始めました。それでも、発表当日までの数カ月、不安の声もありました。しかし、本番では積み重ねた練習の成果が出て感動の演奏に。その裏には、数々のクラスメートの支え合いもありました。緊張してしまう仲間が多いため、曲順のトップバッターをじゃんけんで決め、指が止まった時には「大丈夫だよ！」と声をかけ、出番を待つ緊張で冷たくなった手を仲間が自分の手で温めるなどクラス全員の思いが伝わる発表会となりました。最後には、担任へEXILE「道」の合唱を全員でサプライズプレゼント！感動の涙に溢れた最高の舞台になりました。



「節分」テーマに料理で交流

本年度の国際学科のSDGsの取り組みとして、「国籍による偏見をなくそう」という大きなテーマを掲げています。

このような交流を通してお互いを知り合うことが、偏見をなくす一歩につながると信じ、今後も学科の枠を越えた取り組みの機会を設けていきたいと思っています。

国際学科の1年生と2年生、情報ビジネス学科1年生が料理で文化交流しました。

2月3日に実施されたのが、節分にちなんで、留学生と日本人学生が協力した「恵方巻き」。加えて、留

した。

その後調理開始。国籍など関係なく、料理が得意な学生がリードする姿が印象的でした。

中には、レシピを変えたり、盛り付けに凝ったり、その日に誕生日の

## 留学生と料理で文化交流

### 国際1・2年生と情報1年生

学生の代表料理としてベトナムの「バインチョイ」(白玉団子のようなもの)を作りました。

調理前には、班に別れてフリートーク。打ち解けた後、日本人学生には節分や恵方巻き、留学生にはバインチョイについて紹介してもらいま

人がいた班はハート型のバインチョイを作ってプレゼントしたりして交流を深めました。

交流後の学生アンケートからは、異文化間コミュニケーションを通し有意義な時間を過ごせたことがうかがえました。

学校法人 有坂中央学園

# GLC 群馬法科ビジネス専門学校

〒371-0844 群馬県前橋市古市町1-48-1 TEL 027-256-7700(代) FAX 027-256-8811

www.chuo.ac.jp

# CHUO

中央カレッジグループ

## 令和4年度 公務員試験

# 最終合格が179人に 努力実り、昨年度大幅に上回る

### 難関の県職 | 類や航空学生も

令和4年度の公務員採用試験で、本校からは179人（3月末時点）という大量の最終合格者を輩出することができました。この数字は昨年度の153人を大きく上回る数字です。なかでも特筆すべきは、試験難易度の高い群馬県職I類や国立大学法人、そして航空自衛隊のパイロット候補となる航空学生に最終合格した学生たちがいることです。難しい試験であっても、目標を定めてあきらめことなく試験対策に取り組めば、しっかりと結果を出すことができるということを学生たちが証明してくれました。

合格先を見ると、国家公務員は国家一般職・税務職・技術職などで37人が最終合格（自衛隊を除く）。国家公務

員には数多くの業種がありますが、日本全体の発展に貢献する中央省庁では防衛省や気象庁などに4人、群馬県内で働くことができる3部署（前橋地方検察庁、前橋地方方法務局、群馬労働局）には6人の採用が決まりました。また、独立行政法人である国立大学法人や東京都立病院機構、水資源機構などでは13人の学生たちが最終合格を勝ち取りました。

地方公務員では、群馬県、埼玉県、神奈川県、東京都の都県職員に24人が最終合格しました（警視庁事務を含む）。学生たちは全体的には地元志向が強い傾向にありますが、自治体を

色々調べていく中で、群馬県外に自分にぴったりの仕事先を見つける学生たちも少なくありません。県外の市区町村においても、本年度は10人の学生が東京都、神奈川県、埼玉県、長野県、福島県内の自治体で最終合格を勝ち取っています。県内の市区町村では、14人の学生たちが最終合格を勝ち取っており、前橋市やみどり市、館林市などでは複数人の最終合格者を輩出。さらに、北はみなかみ町、西は上野村、東は大泉町、と県内すみずみまでをカバーしています。消防士では、桐生市消防本部に4人も学生が最終合格。また、全国から数多くの消防士希望者が

集まってくる東京消防庁にはI類・III類併せて5人が最終合格しました。警察官では、地元である群馬県警に13人が最終合格したほか、警視庁、埼玉県警、神奈川県警など関東各地で最終合格を勝ち取りました。

公務員試験における新型コロナウイルスの影響もやや落ち着きを見せてきており、対面での面接試験や集団討論などの採用方法を再び導入して、これまで通りの採用試験を行う自治体が増えてきました。公務員の採用試験は社会情勢によってその形式や重点項目が目まぐるしく変化していきます。その変化に適応し、常に社会に求められる人材を輩出することができるよう、アンテナを高く張りながら、学生指導にはげみます。

4月から公務員として働き始める卒業生たちに、これまでの努力の軌跡や今後の公務員としての目標をインタビューしました。公務員を目指す人とは、ぜひ参考にしてください。

## 卒業生インタビュー

# 努力の軌跡を後輩に

合格先 ▶ 国家一般職(防衛医科大学校)

本多 舞南さん

(国家・地方公務員初級2年制コース、利根商業高校出身)



▽合格に向けて努力したこと・工夫したことを教えてください

学校事務になるという気持ちを常に持ち、毎日朝早く学校に来て勉強し、放課後も教室に残って学習する努力を続けてきました。工夫したことは、通学時間を有効活用できるように一問一答の問題集を携帯し、電車の中で苦手科目の克服に取り組んだことです。

▽防衛医科大学校の職員として、どんな仕事を目指したいですか

防衛医科大学校は、自衛官や医官・技官を養成する機関です。そこでの事務業務は多岐にわたりますが、その中でも教務事務として、学生が学習しやすく、教職員が働きやすい環境の整備に携わりたいです。そして日々の業務を通して、日本の国防の将来を任されている学生たちの育成に貢献します。

▽公務員を目指す人へのメッセージを第1志望に合格したいという気持ちとやる気をもって、最後まであきらめずに努力をすれば良い結果に結びつくと思います。勉強した分、自信に繋がると思うので、試験が終わってから後悔しないように今やるべきことを考えて自分を信じて頑張ってください。

合格先 ▶ 埼玉県警

松本貫太郎さん

(警察官・消防士コース1年制コース、伊勢崎清明高校出身)



▽この学校の良かったところを教えてください

試験の申し込み方法や苦手科目の勉強法など、分からないことがあればすぐに先生に聞ける環境がありがたかったです。放課後、クラスメートと一緒に勉強をしている時、担任の先生も一緒に教室にいてくれて、難しい問題の解き方などを教えてくれました。

▽警察官として、どんな仕事を目指したいですか

刑事課に入って、1件でも多くの犯罪を検挙したいです。街の治安向上に努め、人々の安全で安心な暮らしを守りたいです。

▽公務員を目指す人へのメッセージをまずは、何のために何の仕事に就きたいのか、目標を明確にしてください。そして、その目標を達成するために何を必要とするのか調べて計画を立ててください。あとは、やるべきことをやり続けるだけです。目標を明確にして努力すれば結果はついてくるはずですよ。頑張ってください。

合格先 ▶ 前橋市役所

須藤 香帆さん

(国家・地方公務員初級1年制コース、前橋育英高校出身)



▽合格に向けて努力したこと・工夫したことを教えてください

地域のボランティアなどにたくさん参加して、人のために何かをする経験を積みました。そういった活動を通して学んだことや考えさせられたことは、面接の際に自分のことを伝えるうえでとても役立ちました。

▽この学校の良かったところを教えてください

担任の先生はもちろん、それ以外の先生たちも親身になって面接指導してくれた点です。また、先輩方の受験報告書が膨大にストックされているので、試験の対策がしやすく、安心して試験に臨むことができました。

▽市職員という仕事の魅力は何だと思いますか

自分の生まれ育った町の発展に貢献できることです。また、地域住民の方々と近い距離で仕事ができる点も魅力に感じています。市民と二人三脚で、前橋市をより良い都市にしていきたいです。

合格先 ▶ 渋川広域消防本部

竹内 誠さん

(警察官・消防士コース2年制コース、渋川工業高校出身)



▽合格に向けて努力したこと・工夫したことを教えてください

勉強がそれほど得意ではなかったのでもちろん教養試験のための勉強も頑張りましたが、それ以上に、面接試験や作文試験の対策に力を入れました。▽渋川広域消防本部の消防士として、どんな仕事を目指したいですか

救助隊に入りたいです。そして、どんなに困難な現場にも1秒でも早く駆けつけ、要救助者を1秒でも早く搬送することができる消防士を目指します。そのためにも、日々の訓練に人一倍励み、数多くの現場を経験し、とにかく積極的に職務に臨みます。

▽公務員を目指す人へのメッセージを中学でも高校でも成績の順位は下位のほうだったような自分でも、基礎から勉強して、面接の対策にもしっかり取り組んでいけば合格できました。やればできます。みなさんも頑張ってください。

# 官公庁など取材し調査

## フィールドワーク発表会

2年制1年生の全学生によるフィールドワーク発表会が3月13日と14日に行われました。

この発表会は、1年間の総まとめとなるものであり、4月からいよいよ本格的に始まる公務員試験に向けての下準備となる活動です。

学生たちは、事前調査や官公庁などへの取材を通し、目指す職種の研究に取り組み、その成果をクラスメートや教職員の前でパワーポイントを使って発表します。

研究テーマ設定から官公庁への訪問、プレゼン資料作りまでのすべての過程を学生が主体となって行うこの活動は、課題解決能力やプレゼン能力を養い、各職種に関する知識を深化・共有させることを目的としています。

### 業務について14班が発表

本年度は、各学生の志望をもとに合計14の班に分かれ、それぞれ県庁や市役所、消防士、警察官、自衛隊などの業務について調査・研究しました。官公庁への訪問では、事前のアポイントメントを取るところから学生が行います。普段は主にSNSで連絡を取り合っている学生にとっては、電話やメールで先方とやり取りをする機会は少なく、前期に学んだビジネスマナーを実践するよい機会でした。

発表会では、各班が研究テーマと調査結果をパワーポイントにまとめて紹介。調査を通して得られた情報・データがきちんと見やすくまとめられ、これまでの授業で磨いたPCスキルが生かされていました。



グループごとに調査研究を発表し、仲間の発表に対して質問する学生②

### 時代反映したテーマも

本年度は、防災、高齢者福祉、サイバー犯罪や電子地域通貨など、今まさに私たちにとって大きな課題となっているものが研究テーマに選ばれており、学生たちの時事問題に対する意識の高さが窺われました。

フィールドワークは、調べて発表して終わりではありません。ここで得た知識と身につけたスキルが、公務員採用試験において存分に生かされることを心から期待しています。

調査にあたり、学生訪問に協力いただいた訪問先各職場の皆様には、お礼申し上げます。

## 国内研修旅行に53人

本校2年制1年生の国内研修旅行が12月6、7日にかけて行われ、53人の学生が参加しました。この研修は、普段の学校生活とは異なる環境の中で中央省庁や防災施設などを見学し、公務員という職についての知見を広めることを目的としています。国家・地方公務員初級コースも警察官・消防士コースごとに見学先を選んで実施しました。

国家・地方公務員初級コース学生が見学した迎賓館



警察官・消防士コース学生が訪れた首都圏外郭放水路

### 迎賓館や農水省・法務省など

#### 国家・地方公務員初級コース

事務系公務員を志望する学生が多く集まる国家・地方公務員初級コースは、初日は、東京スカイツリーやすみだ水族館などをめぐって東京観光を満喫したあと、内閣府管轄の迎賓館赤坂離宮を見学しました。

迎賓館は、海外からの国王や首相などの国賓に対して接遇を行う迎賓施設です。そのため入館前には身体検査が求められるセキュリティが厳しい所です。引率の先生が金属探知機に感知されるトラブルがありましたが、全員無事入館。迎賓館は建物が国宝に指定されており、その中にも数多くの芸術的な調度品が展示されていました。

2日目は、農林水産省や法務省、東京税関の羽田支所を見学。市役所とは違って普段なかなか目にすることのない組織なので、学生たちは興味深そうに話を聞いていました。学生たちのなかには、自分たちも国家公務員の採用試験に受ければ中央省庁などでも働けるということを知らない者も多く、これを機に、さまざまな公務員にも目を向けてほしいと思います。

### 外郭放水路や海保・自衛隊も

#### 警察官・消防士コース

警察官・消防士コースの初日は、埼玉県春日部市にある首都圏外郭放水路の見学から始まりました。首都圏外郭放水路とは、首都圏の洪水を防ぐために建設された世界最大級の治水施設です。公安職として日本の災害に立ち向かわなければならない学生たちにとって、日本の防災機能の知識は必須ともいえます。午後は、海上保安庁の横浜海上防災基地を見学しました。

2日目は航空自衛隊の入間基地に行きました。各種装備や航空機だけでなく、基地に併設された最新鋭の入間病院も見せていただきました。自衛隊員と病院のスタッフの方々が、学生たちのために実際の搬送の模擬演習をしていただくなど、想像以上に密度の濃い時間を過ごすことができました。

公務員という仕事に対し、身近な市町村職員や警察官のイメージしかない学生たちにとって、防災基地や中央省庁で働く職員の方々の姿はとて新鮮に映ったようでした。今回の研修旅行をきっかけに、公務員という仕事にますます理解と関心を深め、職業選択の幅を広げてくれることを期待します。

## 地域のプロスポーツ盛り上げよう

### ボランティアスタッフで ザスパクサツ群馬を支援

「地域のプロスポーツを応援!」。本校の学生たちが、前橋市を本拠地とするプロサッカーチーム・ザスパクサツ群馬のホーム戦にボランティアスタッフとして「参戦」しました。

本年度の夏からこれまで十数回にわたって、イベントコーナーやチケット交換などの業務サポートに入り、試合を盛り上げるお手伝いをしてきました。

スポーツイベントは地域経済の活性化や市民の健康増進などに大いに寄与するものであり、学生たちはその意義と役割を、運営側目線で学んでいます。



ザスパクサツ群馬のホーム戦にイベントスタッフとして参戦

この活動に引き続き多くの学生が参加し、ザスパクサツ群馬と県内自治体と本校との産官学連携の足掛かりとなることが期待されます。

### バスケなど4種目に クラス対抗で熱戦

冬の恒例行事であるGLCスポーツ大会が、2月1日、高崎アリーナで開催されました。今年はバスケットボール、バレーボール、バドミントン、卓球の4種目をクラス対抗で競い合いました。

今年の大会は、コロナ禍の中にも関わらず感染対策に配慮しながら実施されました。熱戦の結果、優勝チームはバスケットボールとバレーボールで圧倒的強さを見せた、警察官・消防士コース2年制1年チーム(八剣クラス)でした。

大会開催にあたって、実行委員の学



盛り上がったGLCスポーツ大会

生たちが主体となり、企画立案から大会運営まで学生主導で実施しました。実行委員でない学生たちも積極的に準備や片付けに携わってくれて、そのおかげもあって大会は無事に成功のうちに終えることができました。

新型コロナウイルス感染症の流行により、高校時代の多くの学校行事を自粛してきた学生たちにとって、大勢で楽しく盛り上げられるスポーツ大会は学生生活を締めくくる良い思い出になったのではないのでしょうか。

# 歯科衛生士国家試験 37人が見事に合格

## 県内初の男子学生も夢果たす

第32回歯科衛生士国家試験が3月24日発表され、中央医療歯科専門学校太田校(星野寛一学校長)から37人が見事に合格しました。この中には、県内初の男子学生として3年間学んだ酒巻拓郎さんも含まれています。国家試験合格は、日々の学生の努力と教職員・講師の指導・支援が実ったものです。

国家試験は本年度も東京都千代田区にある大妻女子大学で行われました。本校学生は、前日に試験会場近くのホテルに移動、宿泊して本番に臨みました。

受験までに、本校学生たちは昨年度に引き続き、1年次から始めたスマートフォンでの国家試験対策、3年生の4月からは放課後の国家試験対策や解説ノートの作成など、学生のフォローアップに努めてきました。11月に入ると非常勤講師による補習講義が開始され、学生たちは真剣に受講していました。成績が伸び悩む学生には、少人数での補習や個別での対応をし、毎日補習を行いました。

試験日が近くなるにつれ、クラスの仲間同士で分からないところを教え合う場面や、覚えたことを口に出しアウトプットを行う学生、積極的に教員に質問に来る場面も多く見られました。「必ず全員で合格したい」という一体感も生まれました。

試験当日は、緊張せず落ち着いて強い気持ちで試験を受けることを意識させ、学生たちもお互いに励まし合いながら国家試験を乗り越えました。

歯科衛生士という国家資格を手に入れた皆さんは、医院などの現場でこの経験を自信に変え、成長していったほしいと思います。



国家試験合格を喜ぶ学生たち

### 合格者喜びの声

#### 夢のスタートラインに

酒巻 拓郎さん  
(亜細亜大学出身)



国家試験に合格するために、3年間心がけたことは授業をしっかり聴くことです。授業は初めて聞く内容が多く理解が追いつかないこともありましたが、講師の先生方から、歯科衛生士になるために重要な事柄を丁寧に教えていただきました。このことはテスト勉強や国家試験前の振り返りに、たいへん役立ちました。

歯科衛生士というと口の中だけを知っていればよいのかと思ってしまうのですが、口の中の健康と身体の健康は関係することが多いです。そのためか、就職先として歯科医院や病院だけでなく、企業や自治体、高齢者施設と活躍の場が広がっています。今回、国家試験に合格し、歯科衛生士としてスタートラインに立つことができましたが、

これからも患者さんに信頼されるように努力していきたいです。

#### 先生たちの指導に感謝

澤崎 京乃さん  
(桐生市立 商業高校出身)



この3年間、国家試験を取るための勉強を頑張ってきたので無事合格できて安心しています。入学した当初はコロナ禍のため、学校にも通えずリモート授業の慣れない環境で不安でした。授業も高校では習ったことがない教科も多く、その日のうちになるべく振り返りをしました。また、アルバイトや臨床実習で実践させていただくことで記憶が定着しました。3年生になってからは友達と問題を出し合ったり、教え合ったりすることで理解を深めました。

学校行事がほとんどなく少し寂しい学校生活でしたが、友達と過ごす何気ない日常がとても楽しかったです。合格まで指導していただいた先生方にも感謝しています。合格までご指導していただいた内容を臨床で発揮できるよう、これからも頑張っていきたいと思っています。

## 歯科ユニットを最新機器に



新ユニットを使い実習にはげむ学生たち

### 実習で有効活用

本校で開校当初から校内実習で使用していた歯科ユニットが、このほど最新機器に入れ替わりしました。

歯科ユニットは患者さんが座る歯科用イス(ベッド)と治療機器が一体になっている歯科用機器で、ドクターユニット、アシスタントテーブル、ウォーターユニット、スピットン、ライト、コントローラーなどで構成されています。

日進月歩といわれる歯科医療では治療に関する機器機材も日々進化しています。学生たちは新ユニットを使い、診療補助業務の実習や予防処



導入された最新の歯科ユニット

置業務のプロローピング・スケーリング実習に励んでいます。

最新の機器により、これまで以上の実践的な学びを習得できることを期待しています。

## 「群馬クレインサンダース」試合会場設営を手伝う

### 地域貢献が 学生たちが



バスケットボール会場で設営奉仕した学生たち

太田市をホームタウンとするプロバスケットボールチーム「群馬クレインサンダース」の試合会場で、設営ボランティア活動を1年生が行いました。

学生たちは、会場にシートを敷き、椅子を綺麗に並べ、掃除完了まで半日かけて作業を手伝いました。

活動の背景には、本学園の標語「思いやりの心・感謝の心・奉仕の心」が

あります。本校では、勉学だけではなく、社会人として必要な心を育む教育を実践しています。

この春には「群馬クレインサンダース」のメイン会場として使われる太田市運動公園市民体育館もオープンハウスアリーナ太田として生まれ変わります。新年度も引き続き社会奉仕活動を続けていきたいと思っています。

学校法人 有坂中央学園 厚生労働大臣指定 歯科衛生士養成所

# CMS 中央医療歯科専門学校高崎校

〒370-0843 高崎市双葉町2-8 TEL. 027-310-5088 FAX. 027-310-5622

www.chuo.ac.jp

**CHUO**  
中央カレッジグループ

## 国家試験 歯科衛生士

# 41人が夢かなう

令和4年度の第32回歯科衛生士国家試験の結果が発表され、中央医療歯科専門学校高崎校（原和則学校長）からは、41人が合格しました。学生たちの日々の努力と指導教職員・講師の熱い思いが実ったものです。この資格を手し、就職する歯科医院などでの活躍が期待されます。

学生たちが挑んだ歯科衛生士国家試験は、3月5日に大妻女子大学で行われました。本校では、試験に向けて、朝のホームルーム前と放課後に試験対策の補習を実施。さらに、補習が終わった後も多くの学生たちが先生方に不明な点を質問していました。試験の出

題範囲が非常に広いため、点数が思うように伸びずに苦勞した時期もありましたが、直前には多くの学生の得点が伸びていきました。学園からは試験の合格を祈願したフルーツサンドをいただき、学生にとって大きなエネルギーの補給となりました。

## 笑顔で卒業式に

試験が終わると9日には卒業式を迎えました。この学年は入学後すぐに新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から緊急事態宣言が全国に出され、諸行事が中止になり残念な思いを多くしていました。しかし、卒業式では卒業生はマスクを外し、晴れ晴れとした表情で式典に臨んでいました。今後の歯科衛生士としての活躍に期待したいと思います。



笑顔で卒業を迎えた学生たち



来場者で埋まった高崎3校の合同卒業式会場

本校では、歯科衛生士に必要な線技術や知識などを学ぶ、実習やセミナーを開催し、学生たちが積極的に参加しています。

### 消防職員がアドバイス 救急救命講習

看護学の一環として、1月11日に高崎東消防署の職員の方に来ていただき救急救命講習を行いました。

講習は、胸骨圧迫訓練、AED訓練などを中心に行いました。胸骨圧迫訓練では、学生が思っている以上に力を



胸部圧迫訓練に挑戦

入れて胸骨を圧迫しなければなりません。最初は力加減が分からずとまどっている学生も見られましたが、指導を受けながら一生懸命取り組んでいました。



AEDを実際を使って

## 実習やセミナーを積極的に開催

### 機種による汚れの違い体験 音波振動歯ブラシセミナー

歯ブラシセミナーでは、音波振動歯ブラシと通常の歯ブラシの使い方の違いについて学びました。自分の歯の染め出しを行い、汚れの落ち方の違いなどを体験していました。



振動歯ブラシを体験する学生

### 現場で役立つ口腔管理を 口腔健康管理セミナー

口腔内の健康管理は、歯科衛生士の大切な仕事です。学生たちは、講義を聞いた後、自分の口腔内を観察し、スポンジブラシを使用して体験しました。



口腔内を観察する学生たち

高齢化の進む現代社会では、口腔管理は介護の現場や高齢者を対象とした指導の際に役立ちます。その意味でも、今回のセミナーはたいへん有意義だったと思います。

### 仲間と協力して レントゲン撮影実習

放射線学の学習として、レントゲン撮影実習を本校3階のレントゲン室で行いました。学生は二人一組（術者役と患者役）になり、歯科医師の立ち合



レントゲン撮影実習のようす

い指導のもと患者誘導から撮影の補助としての実習を行いました。

撮影後に学生たちは、自分たちの歯のレントゲン写真を興味深く見ていました。

## 夢への決意も新たに

成人の祝

2学年を対象にした「成人の祝」が、始業日の1月5日に行われまし



国家試験合格など希望を込めて目入れする学生

た。式典では、原学校長が祝辞に立ち、成人になった心構えや今後についてなど、対象学生に語りかけました。学生たちは緊張した面持ちで聞いていました。

続いて本校の全職員が、お祝いの言葉を述べました。その後、一人一人の学生が、国家試験合格などの願いを込めてだるまの目入れを行いました。少しだけ塗りつぶす学生、多



成人の祝辞を述べる原学校長

く塗りつぶす学生などさまざまでした。

最後に原学校長から記念品の贈呈が行われました。この日参加した学生は、来年度は3年生になり国家試験対策も始まります。今後も頑張ってもらいたいと思います。

学校法人 有坂中央学園 専門学校

# CAG 中央農業大学校

〒371-0805 群馬県前橋市南町2-31-1 TEL.027-220-1200(代) FAX.027-223-2814

www.chuo.ac.jp



## 令和4年度卒業生

# 早期就職内定100%を達成

## 「農」「食」関連など中心に

中央農業大学校では開校以来、毎年度就職全員内定の実績を上げています。本年度も早期就職内定100%（本科生）を達成しました。卒業した学生たちは新年度から、生産から加工・流通・販売の各分野に活躍の舞台を移していきます。

就職早期内定を決めた背景には、「農業」と「食」を理論的・実践的に学びながら、技能技術、各種資格を取得し

たことがあります。これらが評価につながり、本校での学びに関連した企業に内定することができました。

加えて、担任をはじめとする教職員、就職指導センターとの連携、学園主催の就職ガイダンスの実施なども内定に結び付いた大きな要因です。

卒業生たちが、本校で学び、身につけた技術や資格を生かし、活躍してくれることを期待します。

### ● 主な就職先 ●

- 株式会社ねぎ街
- 有限会社神長園芸
- 株式会社アセラ
- 有限会社おおくし農園
- 太陽誘電ケミカルテクノロジー株式会社
- 株式会社高井養鶏
- 株式会社フレッセイ
- 株式会社群馬県食肉卸売市場
- 株式会社スーパーバリュー
- 株式会社赤城深山ファーム
- 株式会社三光ファーム
- 群馬キセキ販売株式会社
- 株式会社セキチュー
- 相模屋食料株式会社

## 活躍する卒業生

### 事業拡大、自社ブランド 立ち上げが目標

勤務先：株式会社ナカデンホールディングスおひさまふぁーむ

清水 葉月さん  
(勢多農林高校出身)

持田 祥吾さん  
(横浜学園高校出身)

川口 淳さん  
(樹徳高校出身)

＝令和元年度卒 (写真左から)



本校同級生3人が中心となり、勤務先の農業部門である「おひさまふぁーむ」でタマネギ、菊芋といった野菜類やブルーベリー、梅など果樹類の栽培管理や加工、出荷を行っています。

学校の授業で学んだ営農計画書や取得した簿記検定試験、農業技術検

定などの資格、6次産業化の勉強などを生かして、会社で頑張っています。

今後は、さらなる事業の拡大、自社ブランドの立ち上げを目指していきます。そして、農業の活性化を図りたいです。

## 栽培技術の工夫など堂々と

### 6班が卒業研究発表

卒年次生にとって2年間の学習の集大成となる「卒業研究発表会」が、2月16日に行われ、各学科コース専攻から選抜された6つの班がそれぞれの研究を発表しました。

昨年度同様に、新型コロナウイルス感染防止対策のため、発表会場の参加人数を制限し、1年生や特別講師の先生にはYouTubeを利用したライブ配信を行いました。ライブ配信の試みも今回で3回目となり、以前よりも改善された品質で配信ができるようになりました。

各班のテーマは、「スイートコーンにおける収穫後の糖度低下抑制に関する技術」「スイカの品質を向上するための栽培上の工夫」「イチゴ栽培で独



卒業研究を発表する学生

立就農するための取り組み」に関するものなど、多彩な内容で発表が行われました。

自ら立てたテーマのもと“やって・みて・考える”を実践しながら、失敗と成功を繰り返し取り組んできた卒業研究。入学時と比べて格段に成長した2年生の姿を目にすることができました。

## 「エバーグリーン富士見」で 苗生産や管理、出荷など実習

農業経営学科・ファーム農業経営学科の1年生21人が2月2日、接木苗生産の分野で大きなシェアを誇る株式会社エバーグリーン富士見で校外実習を行いました。同社には本校卒業生も多く働いています。

実習に参加した21人の学生は2～7人ごとにプラグ・接木・ウリ科・ナス科・出荷など社内のさまざまな部署に半日交代で配置され、苗の生産管理から出荷まで幅広い業務を体験しました。

約10haの敷地に広がる大規模なハウスや最新の設備のもとで実習を行った学生たちは、日ごろの実習では経験できない貴重な作業を体験するとともに、次年度の就職活動向け意識を高めることができました。



ハウス内での作業を体験する学生

実習を体験した学生からは、「単純作業の奥深さや重要性を再認識した」「最新のテクノロジーだけに頼ることなく、熟練のプロの技との融合によって高い品質の苗を生産できていることを知った」との感想が出ていました。

スマート農業を学ぶ同学科の学生にとって、農業分野でテクノロジーを有効に活用するための方法などを具体的に学ぶ良いきっかけとなりました。

## ハンバーグメニュー GGCとコラボで開発

6次産業商品開発Ⅱの授業で食品開発デュアルシステムコース2年生が、職業実践専門課程の一環でGGCとのコラボメニュー開発を行いました。

今回は2月の月替わり限定ハンバーグメニューの開発でした。2月1～28日の1カ月間、高崎本店・前橋小相木店・前橋駒形店・GGCキッチンで、今西弘樹さん（大泉高校出身）の考案したチーズインハンバーグにゴダーチーズ、チーズフォンデュソースにGGC自家製のトマトソース、プロックリー、トマト、ぶるぶる目玉焼きがトッピングされている「チーズインフォンデュバーグ」がお店のメニューに載りました。

またHappy Burgでは、菊嶋佳洪さん（甲斐清和高校出身）の考案したチ



学生たちが提案して出来上がったハンバーグ

ーズインハンバーグにコーンポタージュソース、ぶるぶる目玉焼き、トマト、カリッと焼き上げたベーコンをトッピングした「冬の濃厚ポタージュバーグ」が採用され販売されました。

学生たちは、何度も試作を繰り返し、プレゼンを行いました。店舗試食会では、自分の考案したメニューが販売されることの喜びと同時に驚いたような表情でした。今後もお客様のニーズに合った商品を開発していきたいと思

# 「お弁当コンテスト」に482点

## 最優秀賞に山浦さん (藤北高)

「地産地消」をテーマにした第9回お弁当コンテスト(主催・中央農業大学校)が行われ、高校生などから482点のお弁当アイデア作品が寄せられました。受賞は48作品でした。

コンテストでは、地元の食材や特産品を活用し、地産地消を2品以上使用・材料費500円程度を基本に、分量や盛り付け、メニューや栄養のバランス、調理方法などを審査しました。

結果は、藤岡北高校・山浦菜奈聖さんの作品「思いよ、届け!!彩り豊か栄養満点!!万里一空 わっぱ飯弁当!!!」が最優秀賞を受賞しました。上毛新聞社賞には伊勢崎商業高校・齋藤史羽さんの「おじいちゃんの愛で健康と笑顔をプレゼント!!～見た目かわいいはなかつぱ飯弁当!!～」、特別賞には伊勢崎商業高校・細井咲希さんの「具だくさんでお腹もいっぱい!こぎつねご飯の満腹彩り弁当!!」が、選ばれました。

どの作品もテーマである地産地消の食材を多く使用し、彩りよくきれいに盛り付けられ、心のこもったお弁当に仕上がっていました。

応募された皆さんには、今後も地元の食材を上手に使用し豊かな食生活を送ってほしいと願っています。



最優秀賞に輝いた山浦さんの手作り弁当作品

### はたちの干し芋 2000袋を完売

毎年好評の「はたちの干し芋」作りと販売を本年度も行いました。

サツマイモの栽培面積を拡大して臨んだ今シーズン、例年は1年次の農業実習の中で栽培管理を実施していたものを2年次、留学生とも協力して6月の植え付けから10月の収穫、加工作業まで全校一丸となって取り組みました。

甘味、色合い、食感にこだわって作った「紅はるか」の干し芋は、過去最高の大袋・小袋あわせて約2000袋。道の駅など県内各所で大人気、「美味し

### 尾瀬の自然保護に役立てて バザー益金を愛護協会に寄付

本校の石関副校長と学生代表らが、2月28日に片品村役場を訪れ、尾瀬美化愛護協会(会長・梅澤志洋片品村長)にバザーでの収益金47,958円を寄付しました。

この寄付金は、中央カレッジグループの創立80周年事業「SDGsに関する活動」の一環。同校学生たちが主体的にできる社会貢献活動の一つとして3R(リデュース、リユース、リサイクル)とリニューアブルにつながるバザーに取り組みました。

また、尾瀬の環境学習の際に、専門ガイドによる尾瀬でのヤマネ調査やブナ植林地の間伐、尾瀬ヶ原の自然観察



左から学生代表の奥野竜輔さん、尾瀬美化愛護協会の梅澤志洋会長、本校の石関和泰副校長と柿崎渉先生=片品村で

を通じ、貴重な自然を守っていく大切さと、それに関わる経費を実感し、「尾瀬自然保護の一助になれば」と寄付先を決定しました。

寄付金は、鹿の食害にあった大清水湿原のミズバショウの復元作業や、尾瀬の清掃活動に活用される予定です。

い「次は、いつ入るの」というお声がけもたくさんいただき、完売することができました。

学生たちにとっては6次産業化の実践という学びに加え、購入者の反応などからうれしさや誇りを感じることもでき、貴重な経験となりました。

### 3種目に熱戦 スポーツ大会開く

スポーツ大会が2月17日、高崎アリーナを会場として開かれ、熱戦が展開されました。

本年度の大会は、バスケットボール、バレーボール、バドミントンの3種目



スポーツ大会で交流した仲間たち

で実施されました。各チームとも楽しみながらも、応援の声を掛け合い、白熱した戦いを繰り広げました。

コロナ禍の影響で、これまで行事が行えなかった学園生活でしたが、接点が少ない1、2年生と留学生が、学年や国籍の垣根を越えて交流できました。

スポーツを通してクラスや学校全体の結束の深まりを感じた1日でした。

中央農業大学校 6次産業化施設

## 中央フレッシュフーズ株式会社

工場・直営売店  
住所：〒370-0012 高崎市大沢町227-1  
TEL 027-386-4382 <https://chuo-fd.jp/>

果実  
工房  
あり  
さか

### 高島屋の「群馬展」に出店 約2300個売り上げる

群馬の美味しいグルメや、優れた技を用いた工芸品を一堂に集めた物産展「第44回群馬展～ふるさとの味と技の競演～」(令和5年1月18～24日)が高崎高島屋で開かれ、果実工房「ありさか」が出店しました。

多くの出店業者の中で、フルーツサンドやタルトなどで人気の果実工

房は前評判も高く、合計で約2300個を売り上げることができました。足を運んでお買い求めいただいた皆さまに感謝申し上げます。

の対応ができるようになりました。

学生は、商品の陳列の仕方やお客様との接し方・商品の箱詰めなど貴重な体験ができ、よい販売実習となりました。

中央農業大学校では、果実工房「ありさか」店舗を使った販売実習も行っており、成果をあげています。



「ありさか」実店舗で販売実習する学生たち

### オープン1周年 記念セールも

#### 販路も拡大、通販も開始

果実工房「ありさか」は、3月末で昨春のオープンから1年、新鮮な果物を使ったフルーツサンドやタルトなどで人気を集めてきました。

販路も拡大、新たに開拓した大学や自衛隊などにも美味しい味を届けることになりました。さらに各地で

行われるイベントや式典、オープンキャンパスなどにも出張販売しています。また3月からは、本格的に通信販売にも取り組んでいます。

オープン1周年を記念し、全員1割引セールを実施中です。

運営会社の中央フレッシュフーズ株式会社の清水洋副社長は「現状に満足せず、お客様に新鮮で美味しい商品をお届けしていきたい。そのため、商品開発にもさらに力を尽くしたい」と話しています。



「群馬展」の果実工房「ありさか」ブースで販売体験した学生

#### 会場で学生たちが販売実習

中央農業大学校の食品開発デュアルシステムコース1・2年生が、「群馬展」の果実工房「ありさか」コー

ナーで販売実習をしました。

販売に際し、最初は恥ずかしく、声も出ない学生もいましたが、時間が経つにつれ商品の説明や箱詰めなど手際よくなり、大きな声でお客様

学校法人 有坂中央学園 専門学校

# CID中央情報大学校

〒370-0841 群馬県高崎市栄町13-2 TEL.027-324-8511(代) FAX.027-325-8820

www.chuo.ac.jp

# CHUO

中央カレッジグループ

## CID EXPO 2023

中央情報大学校生の学習成果を作品として展示し、その技術力を「見て」「触れて」「体験して」知ってもらうための校外イベント「CID EXPO 2023」が2月25・26日に、Gメッセ群馬で開かれました。コロナ禍のため関係者だけで開催された昨年とは異なり、多くの一般来場者を得ての実施でした。

2回目の開催となる「CID EXPO」では、AIやIoTなどのICT分野、3DCGやプロダクトなどのデザイン分野、スマート家電やLEDなどの電気通信分野など、さまざまな分野の技術を集結させ、学科の垣根を越えたプロジェクトチームで研究開発の成果を発表しました。

場内メインステージでは、プログラミングコンテストやeスポーツ大会、留学生による日本語スピーチコンテストなどのイベントを実施。サブイベントエリアでは、遊びながらプログラミングを学ぶキッズコーナーや、次世代職業像イメージを体験するDXコーナーなどの体験型イベントを実施しました。また、Gメッセ群馬会場の熱気を伝えるライブ中継も行いました。



体験型イベントには親子連れも盛りに上がったeスポーツ大会

発表されたプロジェクトの中には、複数年をかけて取り組む研究もあります。それらは、次回以降のCID EXPOで発表を行う予定です。

# 一般来場者でにぎわう

## IT技術からデザイン、電気通信まで多彩に



学科を超えて学生が取り組んだ「スライ大作戦」



ライブイベントに挑戦する学生



留学生の手による作品も



### DXフォーラム2022

プレゼンテーションで手話翻訳アプリ開発などを発表

### 情報系2年生を対象にプログラミングコンテスト

企業連携事業の一環として、444株式会社のリアル採点システム「TechFUL」を導入したプログラミングコンテストを12月16日、情報系2年生を対象に実施しました。

本コンテストは、実践を通してエンジニアとしての考え方やスキル、そしてチーム開発に必要なコミュニケーションを養うことを目的としています。

当日は、5人1組のグループをつくり、プログラミング技術、ネットワーク技術、サーバー技術、暗号解読など今までに培ってきた技術を集結し問題に挑戦しました。グループごとで競い合う対戦型形式にしたことにより、仲間とのコミュニケーション、また役割



仲間とプログラミングコンテストに挑戦

分担をするなど、学生個々が得意分野を生かしながら1位を目指しました。

コンテスト終了後は、来場していた444株式会社の現役エンジニアの方から直接ソースレビューを受け、考え方や着眼点などを吸収し、今後の学習や卒業後の職場でのスキルに発展させようと真剣に取り組みました。このコンテストを通して、エンジニアとしての自覚を持ち、未来の「プロフェッショナル」として社会での活躍に期待したいと思います。

## 体験型ブース出展とアプリ開発をプレゼン

アイオーしんきん伊勢崎アリーナ(伊勢崎市民体育館)で12月8日開催された「DXフォーラム2022」に、中央情報大学校としてブースを出展、加えて高度ICTデザイン学科の学生によるプレゼンテーションを行いました。

出展ブースでは、学生たちが普段から研究で使用しているMRグラス「Microsoft HoloLens」の体験を展開し、多くの方に日々進化している複合現実を体験していただきました。

プレゼンテーションでは、「学生が考えるミライのDX」をテーマに、手

話翻訳アプリの開発を基にしたフラットなコミュニケーション社会の実現に向けた提案を、学生ならではの視点で交え発表しました。

会場の参加者からは、「趣旨をしっかり汲んでおり、学生らしいエネルギー溢れる発表であった」と、高い評価を得ました。

本校では、地域の活性化を推進するための活動を行っており、今回はその一環での出展となりました。今後も、さまざまな形で地域貢献に寄与していきます。

### 【高度ICTデザイン学科】

本学科は、4年制学科として、2年生後期から個々の専攻に基づいた研究テーマを設定し、授業の中で研究を進めています。半年ごとに、次期の研究テーマ計画のための振り返りレビューを実施し、よ

り深い研究ができるよう取り組んでいます。今期の研究テーマも、人工知能(AI)や脳トレに関するもの、声優養成スクールと連携した体感型ゲーム開発など、最新技術からコンテンツ制作

まで、多岐にわたります。

直近で具体的なかたちになったものとして、「インフォメーションディスプレイの開発に関する研究」があります。各種センサーとインターネットを連携して、教室内のトイレ・電気の使用状況や温度

などを常に表示するディスプレイを開発しました。電気の使用量を見える化し、省エネへの意識を高める研究です。このように本科は4年制の強みを発揮し多彩な研究に挑んでいます。

**4年制の強み生かし多彩な専攻研究**

# コンテストや検定・資格で高い実績

## クリエイティブな世界で成果

### 「Rethink Creative Contest 2022」で優秀賞

プロ・アマチュア問わず、全国のクリエイターが参加するポスターコンテスト「Rethink Creative Contest 2022」で、クリエイティブデザイン学科1年の内山遙月さん（深谷商業高校出身）が優秀賞を受賞しました。

このコンテストは地域の魅力を今までにない切り口で、再発見することをコンセプトとしています。内山さんの作品は、埼玉県行田市のゼリーフライを題材としており、目を惹くキャッチコピーと、レトロで懐かしいデザインが評価されました。



優秀賞の内山さんの作品

## 多くの電気国家試験に合格

電気通信学科と国際エンジニア学科では、電気分野の国家資格に挑戦しています。3月末までに多数の合格の知らせが届いています。

第一種電気工事士試験に17人合格（合格率77.3%）、第二種電気工事士試験に12人合格（合格率92.3%）、消防設備士甲種第4類試験に9人合格（合格率60%）などです。

消防設備士甲種第4類は、火災報知設備や自動火災報知設備などの工事、整備、点検を行うことができる資格で、全国平均合格率が31.5%と比較的難易度の高い資格です。12月に行ったホーチキ株式会社の火災報知器研修を事前

に受けたことで、今回の合格率を出すことができました。机上の理解だけでなく、実習を通して本質を理解する学習を行うことで、合格率に直結しました。今後も実習を効果的に行いながら検定指導をしていきます。

### 【消防設備士甲種4類】合格者

（カッコ内は出身）  
電気通信学科2年=大島和真（藤岡中央高校）、楠孔孝（伊勢崎工業高校）、芝崎晃靖（伊勢崎工業高校）、島田竜聖（藤岡工業高校）、中澤輝（下仁田高校）、林亮太（渋川工業高校）、丸山凌河（玉村高校）、吉田健仁（藤岡工業高校）、田中修穂（社会人入学）

### 「辰年 2024 年業務用年賀状デザイン」で佳作

2024年の「業務用年賀状デザイン募集」で、クリエイティブデザイン学科2年の内田菜々さん（わせがく高校出身）の作品が応募総数1,744点の中から佳作に選ばれました。

採用作品は、コンテスト主催の株式会社アイデア工房が発売する年賀状テンプレート集に、収録される予定です。



内田さんのデザイン

## 電気系企業の協力で実践的な技術研修

電気通信学科では企業と連携し、さまざまな研修を行っています。

群馬電工株式会社の研修施設を利用したインターンシップが11月8日に行われ、研修施設の高所作業車に乗って電柱に登る講習や、実際の電気工事についての講習を受講しました。

12月15日から5日間は、ホーチキ株式会社の講師3人による自動火災報知器研修を行いました=写真。消防設備の専門技術の向上、消防設備士甲4類の試験合格を目的に実施しました。

株式会社関電工の研修施設を利用し



た実習は、2月1日から3日間行いました。実際の現場で働くプロの講師から、電気工具の使い方を教えていただき、電気工士が実際にどのような仕事をしているのかを体験することができました。

今後も実際の現場での研修を数多く行い、実践的な技術の習得はもとより、将来の就職に繋げていきます。

## 「全国電子工学系学校ゲーム制作コンペティション」高度ICTデザイン学科生が奨励賞

高度ICTデザイン学科3年「あみだdeころりん」チームの作品が、応募総数260作品の中から、全国電子工学系学校ゲーム制作コンペティションで奨励賞を受賞しました。

このコンテストは、若年世代の才能の育成とシニア世代の認知予防・脳年齢活性化を目的とした「脳トレゲーム制作コンペティション」です。

11月5日に愛知県「ポートメッセなごや」で行われた決勝大会に出場した本校チームは、特別審査員の人たちと100人近い一般審査員に向けてプレゼ



奨励賞に輝いた高度ICTデザイン学科チーム

ンテーションしました。審査の結果、奨励賞を受賞することができました。

学生たちからは、「私たちの作品に対して次の開発に繋がるリアルな改善点をいただいたのですごく勉強になりました」とリベンジも含めた次回作への意気込みを聞くことができました。

政府が提言する「リスクリング」（デジタル時代の人材戦略）によって「新しい知識や技術を学ぶ」ことが社会から求められています。

本校では社会人向け講座として、パソコンによる定型業務の自動化を

の専門学校教員向け情報処理対策セミナーも実施し、情報系人材の底上げを担う取り組みも行っています。

担当講師の内池雄先生は「リスクリングを通して、今までICTに触れてこなかった方々にも楽しく、さら

## 「リスクリング」で積極的取り組み 情報人材育成と底上げ目指す

実現するRPAや、データ解析を学ぶデータサイエンスなど、社会で必要とされる技術を普及させる講座を行っています。

その他、基本情報技術者試験の新たな試験制度に対応するため、全国

に挑戦したくなる指導を心がけています。今後も需要が高まるであろう情報分野の魅力をさらに広めていきたい」と語っています。本校の今後のさらなる取り組みが期待されています。

## 練習の成果堂々と披露

### 留学生日本語スピーチコンテスト

国際エンジニア学科と日本語学科では、留学生の日本語運用力の向上を図ることを目的に、全員参加で日本語スピーチコンテストを行っています。

今年で3回目となるコンテストのため、学生たちは9月から準備をしてきました。1月にクラス内での予選を行い、各クラスから1人ずつ、合計5人の代表者が選ばれました。代表者は決勝戦までにスピーチの主旨でもある「相手に伝える」を意識し、より良い内容、より流暢に話す練習を重ねました。



優勝したオウシンキョウさん（中国・NIPPON語学院出身）

決勝戦は2月26日、CID EXPO 2023のメインステージで実施。クラス代表者は、予選とは比較にならない大きなステージを前に緊張も見られましたが、代表としてしっかりとスピーチができました。決勝戦後には笑顔もみられ、「やりきった」という満足感にあふれていました。

## 学科の特徴生かし各ゼミが研修旅行

各ゼミの研修旅行が、12月から2月にかけて行われました。

ゼミ研修旅行は、授業だけでは学ぶことのできない、豊かな人間性の育成や専門分野の知識・スキルの拡充を目的として行い、各専門分野に合わせてさまざまな施設を見学したり、体験したりするものです。

「西武園ゆうえんち」で昭和レトロを題材としたデザインに触れたり



=写真、東京ジョイポリスで最先端のテクノロジーに触れたり、各学科の特徴に合わせた学びを体験することができました。ゼミ研修旅行は、新型コロナウイルスの影響により3年ぶりの実施でした。

学校法人 有坂中央学園 厚生労働大臣指定 美容師養成施設

# TBM 高崎ビューティモード専門学校

〒370-0841 群馬県高崎市栄町13-1 TEL.027-310-2220(代) FAX.027-327-6344

www.chuo.ac.jp

# CHUO

中央カレッジグループ

## 美容師国家試験

# 本科生95人が合格 理容師国家試験は5人全員

第47回美容師国家試験の結果が、3月31日に発表され、高崎ビューティモード専門学校からは本科生95人が合格しました。合格率は95%（全国平均88.5%）でした。通信学科は8人が合格、理容師国家試験は5人全員が合格しました。各科合わせ100人を超す合格者は、日々の学生の努力と教職員らの支援による成果です。

**【実技】** 実技試験当日の学生は緊張したようすで会場へ向かいました。そして、試験が終了して会場から出てきた学生は不安な顔をしていましたが、皆日々続けていた練習の成果を発揮することができたようです。

**【筆記】** 筆記試験では試験が始まるギリギリまで教科書やノートを読み、問題を出し合うなど、学生の真剣な姿

を見ることができました。今回初めて会場となったGメッセでの筆記試験。学校から会場までが近いいため、学生は「直前まで勉強ができる」という安心感があり、落ち着いて試験に挑むことができたようです。

日々の辛い練習を乗り越えて挑戦した国家試験、受験後の学生たちはいずれも達成感に満ち溢れた表情を見せていました。



実技試験に臨んだ学生たち



今春に本校を巣立ち、新たな世界に踏み出した卒業生にインタビューしました。後輩の皆さんにも参考になるメッセージです。

### 内定先：(株)アースホールディングス

国際美容師学科  
ヘアメイクコース

高山 恵さん  
(伊勢崎清明高校出身)



### 説明会とサロン見学が決め手

#### ☆早期内定が決まった理由

行きたいと思っていた特定のサロンがあったわけではなく、東京で働きたいだけ思っていました。しかし、インターネットを使ってサロンを調べるのも得意ではなかったので、合同説明会をすごく大切にしていました。合同説明会でお話を聞いて自分に合った所をさらに調べて、サロン見学をさせていただきました。最終的に私は5つの店舗で見学や施術をしていただき、就職を決めました。東京に行くのに、お金も時間もかかりますが、たくさん行けば比較することができ、気づきもあるので、少しでも気になるサロンは見学に行くべきだと思います。

#### ☆学校での2年間

私が20年生きた中で1番頑張ったといえる2年でした。

これまで中学・高校と部活に力を入れてきましたが、ここまで頑張れるとは思っていませんでした。同じ目標を持つ仲間がいて、時にはライバルで。ライバルが近すぎて悩むこともありましたが、救われることもたくさんありました。そんな仲間と親身になってくださる先生方のおかげで一生涯忘れない2年になりました。TBMで本当に良

# 夢に向かって

かった!

#### ☆後輩へ一言

たくさんの大人に会うことって面白いですよ。私は2年生でいろいろなコミュニティに顔を出して、さまざまな大人に会って、まだまだ知らないことがたくさんあって、人生楽しい!って思いました。

美容師の仕事はたくさんの人とお話をする職業なので、今のうちに浅くとも広く知っていることがあると話も進むと思います。

### 内定先：(株)童夢

国際ビューティ学科  
ブライダルスタイリストコース

中山 希梨さん  
(桐生第一高校出身)



### 希望の職業に早くから照準

#### ☆早期内定が決まった理由

私は、本校に入学する前からブライダルのヘアメイクのお仕事をしたいと考えていました。1年次の職業実践授業で「ブライダルサロン童夢」のプロのヘアメイクの方に来ていただき、花嫁のヘアメイクの授業を受けました。ますます憧れとやりがいを感じ、就職したい思いが強くなりました。

積極的にサロン見学の希望を出し、サロンの雰囲気や1日の流れなどを学びました。就職センターを利用して過去の面接の内容を調べることで、希望通り内定をいただくことができました。

気になるサロンを見つけ、早めに行

動することで、内定に繋がれると思います。

#### ☆学校での2年間

私たちは、新型コロナウイルスの影響でオンライン授業が増え、感染状況により急きょ授業変更になることもとても多かったです。しかし、2年次には感染状況の緩和や80周年という節目の年ということもあり、記念式典や大きな会場を借りて初めての合同文化祭など、先生方のおかげでとても良い経験と思い出をつくることができました。

不安だらけのディプロマ試験では、常に学生のことを第一に考え行動して下さりありがとうございました。

## 卒業生 メッセージ

#### ☆後輩へ一言

皆さんも、オンライン授業と対面授業という環境で分からないことが増えてくると思います。でも、1年間はあっという間に過ぎていき、気がついたころにはディプロマ試験です。分からないことはそのままにせず、先生に聞いてください。先生に聞けばきっと力になってくれます。得意不得意はあっても、普段の授業からしっかり取り組めばゴールドライン（ディプロマ試験で優秀な成績を収めること）はすぐそこです。卒業式の日にみんなで賞状を持って、笑顔の写真を撮れるように頑張ってください。

## 卒業生の現在 21

今回紹介する卒業生は、東京・原宿でカラーリストとして活躍している19期生の戸崎理莉香さんです。

「SANDYS」=東京都渋谷区

戸崎理莉香さん (19期生)  
(国際美容師学科卒)

### カラーモデルの施術を

戸崎さんは、美容師・理容師W取得コースを卒業し、人気店が集まる原宿でカラーリストとして勤務されています。

「モデル実習授業を生かして、多くのカラーモデルの施術をして楽し



く仕事をしています。美容師は、好きなことを勉強し、お客様と共有して喜んでもらえるやりがいしかない職業です!」と目を輝かせていました。

戸崎さんの今後のさらなるご活躍をお祈りしております。

# 学んだ技術を披露

## ディプロマ試験

国際ビューティ学科の2年間の技術の集大成となるディプロマ試験が、2月16・17・20日の3日間にわたって行われました。

1日目及び2日目は、エステ・メイク・ヘアセット・ネイルの4部門において、相モデルで制限時間内に仕上げるトータルビューティ技術の試験となっています。

ディプロマ試験開催にあたり、高橋紀幸学校長が「コロナ禍で思うように練習もできず、苦勞したこともあったと思いますが、皆さんにとってこのディプロマ試験が国家資格と同じように価値あるものとして、今後の皆さんの励みになる」とあいさつ。その後、担当の先生から注意事項が伝えられ、学生の緊張が高まる中、試験が開始されました。

エステでは、クレンジング・フェイシャルマッサージ、デコルテのマッサージを行います。エステで肌を整えた後は、メイク技術としてパーティメイクをモデルのパーソナルカラーに合わ

せて行いました。その後個性の演出を考えたヘアデザインを作り上げ、最後にネイルで指先をきれいに飾り、技術は全て終了となります。学生たちの緊張が一気に解けた瞬間でした。実践を想定した一連の技術を行い、モデルを美しく仕上げることで、カウンセリングや接客技術も養われる内容になっています。

3日目は、エステ・メイク・ネイルの特殊技術試験となり、全身リンパマッサージ・デザインメイク・デザインスカルプチュアの各コースに特化した技術の成果を披露してくれました。始めは、審査の先生の視線に、緊張のあまり手が震えている学生もいましたが、時間が経つにつれ少しずつ緊張もほぐれて、普段の力が発揮できていたようです。

厳正な審査により、最優秀者にはゴールドライン、優秀者にはシルバーラインの賞状が3月9日の卒業式の日に手渡されました。



ディプロマ試験に挑んだ学生と関係者



ヘアセットに挑む



デザインメイク



緊張のエステ試験



完成したネイル作品

### 16種目で学生コンテスト

TBM学生コンテストが12月1日開催されました。

今年は練習時間を授業でとらなかつたのですが、コンテストに向け技術向上を目指すため、放課後残って練習している学生がいました。

初体験の1年生は戸惑いながら練習し、日ごろの成果を発揮しようと頑張りました。2年生にとっては2回目のコンテスト。昨年よりも技術レベルを上げて、エントリー種目で上位の成績がとれるように力を入れていました。

惜しくも入賞することができなかった学生たちにとっても、多くのことを学ぶことのできた貴重な経験だ



学生コンテストの表彰式

ったと思います。

コンテストは、【ワインディング、WDⅠ、WDⅡ、WDⅢ】【オールウェーブセッティング】【カット&カラー】【ヘアデザイン】【エステ、Ⅰ応用、Ⅱ基礎】【ネイル】【メイク、Ⅰ、Ⅱ】の11種目。展示部門で【デッサン】【創作ウィッグ】【まつエク】の3種目。フォト部門はFUTUREのテーマで、【ヘア部門】【メイク部門】の2種目。合計16種目で行われました。

### 秋山先生が厚生労働大臣表彰を受ける

本校の教員として理容教育及び美容教育に携わり、多くの優秀な卒業生を業界に送り出したとして秋山美絵先生が群馬県の推薦を受け厚生労働大臣表彰を受賞しました。

秋山先生は、持ち前の明るい性格か

ら、授業だけでなく日常の相談も受けるなど学生からも人気があります。

また、理容教育科の創設に尽力し、学生の教育のみならず教員の指導にも力を注ぐなど内部の活躍はもちろんのこと、美容師の試験委員に任命されるなど外部でも活躍、その実績が業界に貢献していると認められました。

### 村松氏招き記念講演 厳粛に「成人の祝」

本校の伝統行事、「成人の祝」が1月6日、高崎市労使会館で行われました。

式典は厳粛な雰囲気で行われ、高橋紀幸学校長から激励の言葉が学生たちに贈られ、代表学生は人生の新たな門出に力強い誓いの言葉を述べました。

式典では「国家試験全員合格」「デ

ィプロマ試験全員合格」を祈念し、ダルマの目入れも行われました。

記念講演では、『時間と空間を操る量子力学的習慣術』『自分発振で願いをかなえる方法』（サンマーク出版）の著者で知られる、一般社団法人「開華GPE」代表理事の村松大輔氏を講師に招き、社会人として巣立つ学生に向け「人生が最高にうまくいく！成功者がやっている秘訣」をテーマに語っていただきました。

## 職業実践専門課程の取り組み

### プロの技術を各学科が学ぶ

#### ●国際美容師学科●

1年生対象の職業実践専門課程（現役のサロンの方）の授業が、昨年11月7・14日と今年の2月13・20日に行われました。

4日間の授業で、2日間ずつ2つのサロンの方を招きました。まずは11月には伊勢崎に複数店舗ある美容サロン「クレオ」の方を講師に迎え、毛束を使ったカラーとヘアメイク撮影テクニックを学びました。

2月には、桐生に本店があり、イオンモール高崎・けやきウォーク前橋・スマーク伊勢崎など複数の大型施設に展開する美容サロン「ラブヘア」の方を講師に迎え、カット技術やカラー技術（応用）などを学びました。

「クレオ」からはブリーチ剤使用時に、どのように色が抜けるのか、また塩基性のカラー剤による色彩感豊かなカラーテクニックを教えていただきました。

した。そして、「ラブヘア」からはカット技術やカラー応用技術と、スタイリング剤を使った複合的なスタイル、またカット後の頭皮・毛髪のケアの大切さなど、より実践に近い美容技術・サロンで通用する技術を学ぶことができました。

#### ●国際ビューティ学科●

6月20日に「キャンアイドルシープロフェッショナル（ネイル）」、21日は「Special Makeup Artist：佐藤健司様（特殊メイク）」、11月16日に「童夢（ブライダル）」、21日「たかの友梨ビューティクリニック（エステ）」の方を講師にお迎えし、職業に必要なとされる実践的で専門性の高い技術・マナーを学びました。

CMや映画などでの最新の美容技術だけでなく、コロナ禍における業界の現状などをお話しいただき、美容業界の今後の可能性を感じることができた有意義な授業となりました。

### 福祉理美容士養成講座 教員対象に6人が受講

福祉理美容士養成講座が昨年12月19日から21日の3日間に、本校1階実習室で実施されました。

講師は日本理美容福祉協会の福澤えみ子先生で、本校教員6人が参加して座学と実技をしっかりと学びました。

福祉理美容士の仕事は『尊厳』を守り、『その人らしさ』を出し、『生活』を支えることです。少子高齢化時代では、要支援・要介護高齢者はもちろん自立者であっても、何らかの支障により理美容室を利用することが難しい方々が増えています。

福祉理美容サービスは、店舗に出向いてカットやカラーなどをすることが困難な高齢者や障害者が理美容サービスを希望する場合に、専門知識・経験・技能を持った理美容士が訪問して理美容サービスを提供することにより福祉サービスを推進しようとするものです。

福澤先生は元美容学校の先生で、美容師・管理美容師・教員資格を取得し実際の介護現場経験しており、理美容士の科目である美容保健・衛生などにプラスして介護現場などの具体的な講義を展開。さらに、学生が理解するにはどのようなことを伝え、どのような話を例に挙げるとよいのかなど分かりやすく指導していただきました。

学校法人 有坂中央学園 国家資格 愛玩動物看護師 指定養成所・群馬サファリパーク職業教育連携校・北軽井沢地域職業教育連携校

# CAN中央動物看護専門学校

〒371-0844 群馬県前橋市古市町1丁目43-27 TEL. 027-253-7211 FAX. 027-289-4005 フリーダイヤル. 0120-15-1281

www.chuo.ac.jp

# CHUO

中央カレッジグループ

## 第1回 愛玩動物看護師 国家試験

# 努力実り全員合格

第1回「愛玩動物看護師国家試験」(2月19日実施)の結果が、3月17日発表され、受験した中央動物看護専門学校の動物看護学科2年生9人が見事全員合格しました。

愛玩動物看護師は、ペットの飼育頭数の増加や高齢化、動物医療の高度化・多様化に対応することを目的に、業界団体が強く推進したこともあり、ようやく国家資格となりました。ペットが家族の一員となった今、獣医師と共にチーム獣医療を担う存在として注目さ

れている資格です。愛玩動物看護師になると、採血や経口投薬のほか、マイクロチップの挿入など診療の補助が獣医師の指示のもと行えるようになります。また、入院動物のケアや看護、愛玩動物の愛護・適正な飼養にかかわるアドバイスやサポ

ートも業務範囲に含まれています。その愛玩動物看護師の活躍の場は動物病院に限らず、ペットショップ、ペットフード会社、動物介護施設などさらに増えていくことが予想されています。

今回の国家試験では過去問題が存在しない中、不安と闘いながら、学生たちは毎日問題集を解いたり、難しい箇所をノートにまとめたり学校に残って勉強したり努力を重ねました。また、

同試験は卒業生も受験し、動物病院などで日々業務を行う中、休憩時間や業務後の時間を使用し勉強をしていたという声も聞きました。

第1回愛玩動物看護師国家試験の全国合格率は88.9%でした。

今後さらに愛玩動物看護師の活躍の場が広がることで動物業界が盛り上がり、動物たちの健康と福祉が守られる社会になっていくことを期待しています。

## 卒業生インタビュー

本校を今春卒業し、動物関係の職場に多くの学生が巣立っていきました。代表2人にインタビューしました。

内定先：伊勢崎動物医療センター

内定先：群馬サファリ・ワールド株式会社

棚橋 杏月さん  
(前橋商業高校出身)



### 飼育当番で観察力養う

本校での思い出は、学園祭でMCを担当したことと飼育当番です。MCでは大勢の人前に立ったことはたいへん貴重な経験になりました。学校飼育動物の飼育当番では、1年間班長を務めました。班長として班全体をまとめたり、何でも相談できる雰囲気づくりに励みました。また、飼育当番を通じ、繊細な観察力も身に付けることができました。

今後、就職先で今までの経験を生かし、患者動物の細かな体調変化に迅速に対応できる、愛玩動物看護師として頑張りたいです。

岡田 悠花さん  
(前橋市立前橋高校出身)



### 飼育員への夢果たす

校外飼育実習や、インターンシップ実習では、実際にそこでしか学べないことを多く経験しました。将来に繋がる大切な技術や、現場で働いているスタッフの方々から教えていただいたことを忘れないように、必死にメモを取りノートにまとめることは大変でした。その努力が実り、夢だった動物飼育員になることができるとてもうれしです。

動物を扱う仕事は楽ではありませんが、楽しさも忘れず日々努力していきたいと思っています。

## ライオン舎など見学も 群馬サファリパークOC

本校が教育連携している「群馬サファリパーク」への移動オープンキャンパスが12月10日に実施されました。

今回の移動オープンキャンパスは、実際のサファリパークの裏側を見学できるツアーとして企画されました。

その中でも、目玉となったのは普段見学のできないライオンのバックヤードツアーです。体が震えるほどのライオンのうなり声、手を伸ばせば届くよ

うな距離にいるその姿に参加者含め、学生も大興奮でした。

今回のツアーでは、案内補助の学生にとっても、実際の飼育員のように専門的な知識を参加者に説明することができ、自信にも繋がるイベントになりました。

移動中のバス車内では普段のオープンキャンパス同様の学校説明を行い、プレゼントの抽選会も行いました。豪華なプレゼントに参加者は大盛り上がりでした。

## ぐんまフラワーパークで移動水族館



水族館会場

### クラゲや金魚、カメ、ペンギンなど一堂に 「スターライトアクアリウム」 学生も運営に協力

海の生き物を集めた移動式の水族館「スターライトアクアリウム」(主催・中央動物看護専門学校)が、3月18・19日に前橋市のカネコ種苗ぐんまフラワーパークで開かれました。

この水族館は、新潟県との県間交流事業の一環として企画されたもので、癒やしや感動を届けることをコンセプトに、学生や教職員が企画・運営に携わりました。パーク内の施設の天井に投影された星空のもと、赤や緑の光で照らされた水槽には、クラゲやグッピー、コイなど約40種、1000匹の海の生物が泳ぎ、幻想的な世界を生み出していました。また、ウミガメや屋外にはペンギンなども展示され、来場した親子連れなどの人気を集めていました。

学生たちは受付や案内などに大活躍で、貴重な経験を積んでいました。18日には同水族館で移動オープンキャンパスも行われました。

なお2日間の来場者は合わせて1,938人でした。



水槽で泳ぐクラゲ



屋外展示されたペンギン



学生も運営に協力

## 動物や飼育学ぶ 国内研修旅行

コロナ禍のため中止されていた国内研修旅行が昨年12月15・16日に、1泊2日で横浜市内を中心に行われました。

1日目は、アニタッチみなどみらいで、カピバラやさまざまなエキゾチックアニマルに触れ合うことのできる施設見学と横浜市内散策を満喫しました。

2日目は横浜ズーラシアの見学。バックヤードツアーという普段入ることのできない象舎で、飼育員さんから貴重な話を聞くことができました。また、希少動物のオカピの見学や飼育環境に配慮した施設をめぐりました。学生たちは、研修旅行の課題をクリアしようと、熱心に掲示板の写真を撮ったりしていました。

園内散策とたっぷり動物に触れ合うことのできた本校ならではの2日間の研修となりました。

厚生労働大臣指定 柔道整復師養成施設

# CSM 中央スポーツ医療専門学校

(旧 前橋東洋医学専門学校)

〒371-0843 前橋市新前橋町21-16 TEL.027-253-1205 FAX.027-253-1230 HP.http://www.ist.ac.jp

www.chuo.ac.jp

# CHUO

中央カレッジグループ

## 私たち 頑張ってます!

中央スポーツ医療専門学校は、長年にわたって多くの柔道整復師を輩出してきました。その先輩の後を追うように新たな在校生も仲間に加わり、実技に学習に励んでいます。今回は、先輩と在校生を紹介します。

### 活躍中の卒業生

#### かたぎり整骨院グループ

代表 片桐 浩希さん

(10期生・2013年卒業)

#### 「アスリート特化」の整骨院を

##### ◎仕事のやりがい

けがをしてマイナスになったところからプラスにもっていくにはどうしたらよいかと考え、ジムを併設させトレーニングと治療を融合させることにしました。競技への早期復帰はもちろん、パワーアップして競技に復帰できるような環境づくりを提供したいと思い、今の施設をつくりました。

私がスポーツをしていた時にあったらしいなと思った接骨院づくりをしています。自己満足にならないように、

#### てしがわら接骨院・鍼灸院・整体院

院長 勅使河原一雅さん

(5期生・2008年卒業)

#### 「ありがとう」の言葉に喜び

##### ◎仕事のやりがい

患者さんの身体が良くなって、お客様の「ありがとう」をいただけることと、スタッフと共に成長できる喜びがあることです。自分の好きな仕事をしながら人から感謝され、自分自身も成長していける。こんないい仕事はありません。確かに大変なこともありますが、やりがいと誇りを感じています。



感謝の気持ちを忘れずに日々患者さんとマンツーマンで目標に向かって一緒に努力し続けることにやりがいを感じています。

##### ◎在学中の思い出

学校生活の思い出は3年間全てです。クラスメートや先生方に恵まれ、挫折しそうになったり辞めたくなったりしたときも、助けてもらいました。一緒に勉強をがんばった仲間や先生方は、開業した今でもとても頼もしい相談相手です。すごく感謝しています。



##### ◎在学中の思い出

とにかく忙しくて無我夢中だったという思い出があります。学業と接骨院でのアルバイトの両立が大変でしたが、「効率」と「やればできる」ことを学ぶことができました。これは今の仕事にも生きているので、充実した学校生活だったと思います。お世話になった先生方や仲間へ感謝しています。

## 在校生メッセージ

22期生

金井 陽菜さん

(新島学園高校出身)



##### 本校を選んだ理由

#### 学校の雰囲気がよかった

オープンキャンパスに参加したとき、先生方の距離感や学校全体の雰囲気がとても良いと感じました。また、経験が豊富な先生方に教えていただけるという点と授業が少人数制なので、わからないところを聞きやすい環境が整っていると思いました。この学校だったら、自分に合っていて、今後も頑張っていけると思ったので入学を決めました。

##### 学校生活で楽しいこと

#### 身体の仕組み学べる喜び

授業で学んだことを理解して、知識として身に付いていると感じたことです。また、実技や座学などで専門的なことを学習するので難しく大変だと感じることもありますが、学生同士で勉強など協力し合ったり、自分自身の身体の仕組みを知ることができたのが楽しいです。

22期生

柳井 宥哉さん

(吉井高校出身)



##### 本校を選んだ理由

#### 時間を有効に使える環境

この学校は、授業が9時から15時で比較的短いので、学校が終わった後の時間を勉強やアルバイトに当てることのできることで時間を有意義に使えると感じたのが大きいです。また、少人数クラスということもあり、全員が先生の指導を直接的に受けることができると感じたからです。

##### 学校生活で楽しいこと

#### 包帯やテーピングが上達

包帯やテーピングなど実技の授業では、練習を重ねて上手になっていくことや、試験で練習の成果を発揮できたときは、とてもうれしく自信に繋がります。また放課後にクラスメートと学校に残り練習する時間も楽しいです。

接骨院で働いている柔道整復師の先生の授業では、おもしろい体験談を聞くことができ、さまざまな知識を教えもらえるので、自分にとってプラスになる環境だと思います。

## 年間通じてオープンキャンパス

### 卒業生による体験授業も好評

本校は、1年を通じて高校生の皆さんなどを対象にオープンキャンパスを随時開催しています。

内容は在校生による施設見学案内、講師の先生たちによる体験授業など盛りだくさんで、柔道整復師国家試験への取り組みや就職状況なども知ることができます。また、AO入試や特待生

制度の説明もくわしく行います。家族同伴でも、父母のみの参加もできます。

3月24日のオープンキャンパスでは、体験授業として本校3期生の高崎ただき接骨院院長の只木祐太先生による「猫背・スマホ首の改善法」を行い、参加者から好評でした。

只木先生はストレッチを中心に、参加者や保護者の方たちに実際に施術。柔道整復師の技を実感していただきました。

## 接骨院や整形外科などで実習

### 1・2年生が挑戦

柔道整復師の臨床における実践的能力を向上するために、臨床実習が行われます。臨床実習施設としては、接骨院や整形外科、介護施設があり、1・2年生が臨床実習に取り組みました。

多くの卒業生が勤務している高柳整形外科・歯科クリニックでの実習では、外来の補助やリハビリ室での患者さんの誘導、先輩方の補佐をさ

せてもらいました。また、入院設備もあるため、入院患者さんの院内でのようすも見学させてもらいました。

本校の卒業生が開業している高崎ただき接骨院での実習では、接骨院での仕事の流れや、電気療法の使い方などを教わりました。また、てしがわら接骨院では、実際に患者さんの受付や誘導を行わせてもらうなど、とても充実した実習となりました。

学生たちは臨床実習を通して、柔



実習先で、お世話になった先生たちと

道整復師の業務を把握するとともに資格取得後の将来像をイメージすることができたのではないかと思います。



猫背やスマホ首の改善法を指導する只木院長

学校法人 有坂中央学園 高等学校卒業と専門知識・技能の取得  
**CHS 中央高等専修学校**  
 前橋:〒371-0842 群馬県前橋市下石倉町31-20 TEL.027-253-5596(代) FAX.027-280-5270

**クラーク記念国際高等学校連携校**  
**前橋校** <http://chs-clark.jp>

**CHUO**  
 中央カレッジグループ

## 第24回 卒業式

# 感謝を胸に34人が旅立ち

クラーク記念国際高校連携校・中央高等専修学校前橋校の第24回卒業式が3月4日、中央カレッジグループ本部館6階ホールで厳粛な雰囲気の中で行われ、34人が学び舎を巣立っていきました。

今回の卒業式は、新型コロナウイルス感染症対策に関する文科省通知および教育委員会の通達に基づき、生徒・教職員はマスクを着用せずに参加。卒業生は、高校生活最後の行事をマスクなしで行うことができました。

また政府の感染症対策緩和の動きを受け、保護者の参列をコロナ禍前の状況に戻し、併せて多くのご来賓にも臨席していただき、盛大に行うことができました。

式典の冒頭では、各種表彰が行われ、

成績優秀者に贈られる「かわせみ賞」が中島慎太郎・学校法人有坂中央学園理事長から卒業生2人に手渡されました。また、

前橋市長賞は山本龍市長から、ロータリークラブ賞は前橋南ロータリークラブの田嶋宏樹会長から贈られました。

卒業証書授与では、須川清学校長から一人一人に、努力の賜物である卒業証書が手渡されました。

卒業生の3年間の活躍・成長に対し、学園グループの中島利郎代表や山



緊張気味に卒業証書を受ける



代表による答辞では、家族・友人・恩師への感謝の言葉が述べられた

本市長から、お祝いと努力への労いの言葉をいただきました。

答辞に立った卒業生代表の中島結奈さん、今井孝亮さんは、「さまざまなことで悩み、行き詰まり、さらにコロナ禍で思い通りのことができない期間もありましたが、この学校に登校できて、友達もできて、好きなことができ

ました。支えてくれた親、友達、先生に感謝しています」と学校生活を振り返り、感謝の言葉を述べました。

卒業生34人は前橋校での学びを胸に、進学・就職とそれぞれの道へと旅立っていきました。今後の活躍に期待しています。

本校では、社会貢献や生徒間交流、文化体験など多彩な行事に取り組んでいます。それぞれが学校生活の思い出になっています。

### RC・RAC・IAC 合同ボウリング大会

前橋南ロータリークラブ(田嶋宏樹会長)主催の合同ボウリング大会が、2月8日に前橋市のエメラルドボウルで開かれ、本校も参加しました。

この大会は、ロータリークラブ(RC)、ローターアクトクラブ(RAC)、インターアクトクラブ(IAC)のメンバーが交流を深め、それぞれのボランティア活動の意見交換などを行う機会を設ける目的で行われています。コロナ禍の中断期間もあり、今回3年ぶりの開催です。

ボウリング場20レーンを貸し切り、それぞれのレーンに生徒・ロータリアン・教職員が入り、互いのプレーをたたえたり、投球のレクチャーを受けたり、交流を深めながら2ゲーム行いました=写真。ゲームは個人戦で行われ、



高得点の生徒には、RCから賞品が贈られました。

大会終了に際し、IACを代表して山口明日音会長と安部奈菜穂副会長が「楽しいボウリング大会を開催していただきありがとうございます。今後もRCの方々と協力しながら、ボランティア活動を進めていきたいので、よろしくお祈りします」とお礼のあいさつをしました。

今回の大会でさらに深められた交流を大切にして、今後もボランティア活動に積極的に取り組んでいきたいと思っています。

## 行事の思い出

### 1・2年生がサッカー交流 フルサイズの芝グラウンドで

1・2年生の交流会が2月24日、敷島公園補助陸上競技場サッカーグラウンドで行われました。通常の体育の授業では、土のグラウンドでサッカーをしていますが、今回は天然芝のフルコートでの試合となりました。

本年度は11・12月にサッカーワールドカップが開かれたこともあり、世界の選手たちが、いかに広いグラウンド



本格的なサッカー場で試合する生徒たち

を走って競技に取り組んでいるかを体験することができました。

参加した生徒からは「サッカー選手がこんなにも広いグラウンドで90分間プレーしているのかと思うと、すごい体力だと思った」「選手は軽くロングキックを蹴っているが、自分で蹴ってみると全然飛ばないので、技術はすごいと感じた」などの感想がありました。

### 凧作り 揚げて楽しむ 日本の伝統文化学習



生徒たちによる凧揚げ大会が、2月15日に利根川の大渡緑地河川敷グラウンドで行われました=写真。

本校では、日本の伝統文化を学ぶ伝統学習の一環として、毎年凧作りを行ってききましたが、ここ数年は凧揚げを実施していませんでした。

生徒たちから、「せっかく作ったのだから凧揚げをしたい」という多くの要望を受け、凧揚げ大会を復活させることとなりました。

当日は、群馬の冬らしく強い北風も吹き、凧揚げ日和となりましたが、強

い風を受けて足が切れてしまったり、回転して墜落してしまったりと、うまくいかないことがありました。しかし何度か揚げることを繰り返していると、いくつかの凧が上空高く揚がっていきました。

参加した生徒からは、「凧を作ったり、揚げたりしたことがなかったが、今回の経験を生かして来年はうまく揚げられるように作りたい」という声もあり、今回の失敗から学んで、来年はもっとたくさんの凧が揚がることを期待できると感じました。

### ディズニーシーで交流 4年ぶり全学年旅行

ディズニーシーへの学年旅行が、3年生は1月31日、1・2年生は2月14日に、実施されました。コロナ禍の影響を受け、全学年が学年旅行を実施できたのは、実に4年ぶりです。

両日ともに天候に恵まれ、高校生活初の移動を伴う大きな行事に生徒も大いに盛り上がりました。そんな中でも、時間を守って行動することや、公共の場所で周りの人たちに迷惑をかけないなど、高校生として節度ある行動もし



ディズニーシーを楽しむ生徒たち

っかりして、楽しさだけでなく、多くの学びがある有意義な学年旅行になりました。

今後も多くの行事が通常通り行われることになるので、高校生らしく元気に楽しく参加し、多くのことを学んでもらいたいと思います。

学校法人 有坂中央学園 高等学校卒業と専門知識・技能の取得

**CHS 中央高等専修学校**

桐生: 〒376-0011 群馬県桐生市相生町5-59-28 TEL.0277-53-8511(代) FAX.0277-53-8532

**クラーク記念国際高等学校連携校**

桐生校

<http://chs-clark.jp>**CHUO**  
中央カレッジグループ

# 桐生校で第15回卒業式 11人が新たな一歩を

クラーク記念国際高校連携校・中央高等専修学校桐生校(須川清校長)の令和4年度「第15回卒業式」が3月5日、同校で行われ、総合コース8人、ベーシックコース3人の計11人が卒業の日を迎え、卒業証書を手にとって新たな一歩を踏み出しました。コロナ禍の中で過ごした高校生活でしたが、3年間の成長を感じさせるように胸を張って式に臨みました。

式典では、須川校長が式辞に立ち「新型コロナウイルスにより行動を制限された時だからこそ学べたことがたくさんあったように思います。自ら学ぶ姿勢を持つことや他者を大切に思いやりの気持ち。自分自身はもちろん周りの人を励まし温かく見守り勇気づけてくれたこと、それぞれの成長を多くに感じることができました」と卒業生

に語りかけました。

今年の卒業生は入学後すぐに新型コロナウイルスの影響で休校や行事の中止、隣の席とも間隔を取り、お昼休みも黙食を徹底するなど制限の多い高校生活でしたが、笑顔を絶やさず、後輩たちとも積極的に交流していました。

思い出を共有しあった2年生を代表して飯島唱くんが「先輩方は仲が良く、まとまりもあり、その姿を見て仲間を信じることの大切さや絆を感じることができました。親しみやすく、休み時間や放課後に先輩方とたわいもない話をした時間はとても楽しく、心の安らぎとなりました。楽しい思い出をありがとうございました」と感謝を込め送辞を述べました。

卒業生を代表し林颯良さんが答辞に立ち、クラスメートに向けて「3年前

の春、期待と不安を胸に高校へ入学しましたが、新型コロナウイルス感染拡大により、臨時休校を余儀なくされました。学校再開後も制限が多く、今までのような学校生活を送れず友達もできるか不安でした。しかし、日が経つにつれ仲間とも打ち解けていき、楽しいことだけでなく辛いこと、苦しいことを共有することができました」と感謝し、さらに後輩の2年生にもエールを送りました。最後に保護者へ向け「わがままな言動で心配や迷惑をかけたこともたくさんありましたが、今日まで応援し支えてくれ



証書を受ける卒業生



仲間と卒業を喜ぶ

てありがとうございます。これからも見守ってください。自立に向かって頑張っていきます」と感謝と決意の言葉を述べました。

## 思い出づくりにピンポン大会 2、3年生合同で楽しむ

本校の体育は2、3年生合同で実施しています。3年生の家庭学習に伴い、最後の合同体育授業が1月30日に行われました。最後の授業はゲーム性を持たせた卓球大会「ピンポン大会」。生徒と教員を混成したA～Cの3チームに分かれ、オリジナル3競技で競いました。

第1種目は「ラリー」。3分間にラリーできた回数そのまま得点になる競技です。1回でも多く打てれば得点になるため「早く!」「急いで!」など熱の入った声が聞こえました。結果は1位Cチームが2位にいきなり70点差をつける展開となりました。

第2種目は「ピンチャレ」。卓球台に的となるさまざまな容器を置き、チームメイトが出した玉をレシーブし的に入れれば得点となる競技です。各チーム1人持ち球3球で全員が挑戦しましたが、的のふちに当たり中々得点することができませんでした。

第3種目は「ホールインワン」。的となる容器めがけてサーブを打ち、的に入れれば得点となる競技です。各チーム順番にサーブを打ちましたが、こちらも的のふちに嫌われ、得点することができませんでした。



優勝したCチーム

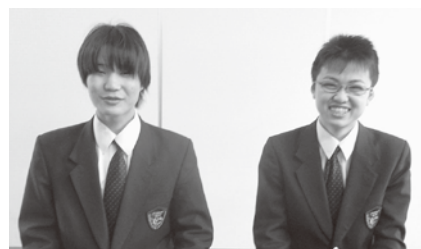
3種目を終え優勝したのは、序盤に大差をつけたCチーム。優勝したCチームからは「勝つことができたし、最後に楽しく体育の授業を行うことができた」の声が出ていました。

## 卒業生インタビュー

令和4年度、本校では総合コース8人、ベーシックコース3人の計11人が卒業を迎えました。卒業生を代表して総合コースの秋本翼さん(写真㊂)と林颯良さん(写真㊃)に、高校生活3年間を振り返ってもらいました。

### 総合コース

秋本 翼さん  
林 颯良さん



### 【頑張ったこと】

▽高校生活で、最も頑張ったことはなんですか。

林 僕は電卓検定ですね。

秋本 僕も電卓検定です。

▽3年間で、さまざまな検定取得に向け頑張ってきたと思いますが、どうして2人とも電卓検定なのですか。

林 僕は高校で初めて電卓に触れたんじゃないかってくらい経験なかったんです。周りの人も電卓に慣れてる人はいなかったんですよ。スタートラインがみんな同じだったんで、努力した分だけ成果が見えやすいかなと思って。

▽秋本さんは電卓検定1級も取りましたよね。

秋本 はい。僕もいろいろな検定取得に向けて頑張りましたが、その中でも電卓が1番できたので。1級取れて良かったです。

▽授業でも頑張ってきましたが、3年間で好きな授業は何でしたか。

林 僕は3年生の社会と情報です。知らないことばかりだったんですが、知

識を得れば得るほどもっと知りたいなって思える授業でした。

秋本 僕も社会と情報は好きでした。あとやっぱり体育ですかね。みんなと運動できるのは楽しかったです。

### 【今後の目標】

▽2人とも4月から就職します。今後の目標があれば教えてください。

秋本 僕は早く仕事を覚えて1日でも早く一人前になりたいですね。それで余裕が出てきたらボランティアで自分と同じ境遇の子の相談に乗るような活動がしたいです。

林 僕はみんなから頼られるような人になりたいです。また、知識や周りの人の良いところを吸収したいです。

### 【最も成長したところ】

▽高校に入学して、最も成長したと思うことは。

秋本 僕は人と話せるようになったことです。中学生のときは本当に話せなかったんです。

▽そのきっかけは。

秋本 2年生のときに転校生が来て、そのときに担任の先生から“気にかけてあげて”と言われて自分から話しかけるようにしたんです。そしたらだんだんと話せるようになりました。

▽林さんはどうですか。

林 僕は自分の考えをしっかりと持てるようになったことですね。中学生の時は、授業中に発言することなんて1度もなかったのですが、ここに来てからは、授業中しっかりと自分の意見を言うようにしていました。就職しても意識し続けていこうと思います。

### 自分の成長を実感できた

#### 【思い出】

▽まず秋本さんから。高校3年間での、一番の思い出はなんですか。

秋本 修学旅行です。僕らの高校生活は新型コロナウイルスの流行と重なって、入学してすぐ休校になり、学校が始まってからも多くの行事が中止になったり友達とも遊びに行けなかったりと制限の多いスタートでした。それでも3年生になりみんなと修学旅行に行けたことがすごくうれしかったです。その中でも、旅館の部屋で寝る前にみんなと話したことが一番楽しかったです。

▽林さんはどうですか。3年間での思い出を教えてください。

林 いろいろありますね。合同学園祭もみんなで協力して面白かったです。でも、一番の思い出は体育祭です。僕ら3年生の頑張っている姿、生き様を見せる最後の機会だったんです。きっとその熱い思いは2年生に伝わったと思います。



Super Kids English Studio  
中央外語学院

〒371-0844 群馬県前橋市古市町1丁目49-3 TEL.027-256-7200 FAX.027-256-7201

www.chuo-gaigo.com

CHUO  
中央カレッジグループ

## こどもスピーチフェスティバル2023

# 「英語大好き、集まれ！」 園児・児童ら楽しく発表



みんな仲良く元気に発表

時代を担う国際人を育てる中央外語学院は3月25日、群馬会館大ホールで「こどもスピーチフェスティバル2023」を開催。群馬県下の幼稚園児や小学生、保護者ら約350人が集い、日ごろの英会話学習の成果を披露しました。

本学院では、このフェスティバルでの発表を「ゴール」として、それに取り組む1年として位置づけ、英語の指導に取り組んできました。

本学院が提唱する「子どもたちが楽しんで英会話することが本来の目的である」との思いから、英会話力の競い合い（コンテスト）ではなく、発表する子どもたち自身とそれを聞くみんなが英語を大好きになる場（フェスティバル）の提供を目指しています。

今回で9回目（オンライン回を含む）

となるフェスティバルでは、子どもたちが、普段の英会話で学んでいることを、ポスターや写真を使いながら「将来の夢」「家族について」「自分について」などを英語で表現しました。

また、ステージでは、歌やポエムを披露をするなど、フェスティバルの名にふさわしいバラエティに富んだ内容となりました。

ステージ上で緊張しながらもいきいきとした発表を行う園児や小学生の姿に、会場の保護者などから盛んな拍手



参加者が全員集合

が送られていました。子どもたちにとって、このような大舞台での発表やその達成感は貴重な体験となったようです。

当日の参加者には、本学院から修了証が授与されました。これからも、英語に慣れ親しみ、異文化を理解することのできる人材を育てていきます。



熱気あふれるパフォーマンス

## 資格の学校 TAC 群馬校

お申し込みお問い合わせは資格の学校TAC

〒371-0805 群馬県前橋市南町3-14-1 TEL 027-226-1823 FAX 027-243-5300

### 2022年度試験合格報告

# 税理士で6年連続 5科目合格者出す

2022年度の試験結果が出そろい、多くの受講生から喜びの報告をいただきました。税理士試験では、6年連続で本校から5科目合格者を輩出（2人）、科目合格者も簿記論、財務諸表論、相続税、消費税、固定資産税と合格者が出ました。また、社会保険労務士試験では6.4%の合格率で2人の合格者を輩出、宅建士でも見事合格を手にし

た。公務員試験では国家公務員、国税専門官、東京都庁、東京特別区、群馬県庁、栃木県庁、埼玉県庁、兵庫県庁、高崎市役所、太田市役所、伊勢崎市役所、館林市役所、渋川市役所、大泉町、玉村町等と多くの受講生が県内外で最終合格を勝ち取りました。

### 【合格者数報告】

(数字は人数)

○税理士2  
〈科目合格〉  
簿記論2、財務諸表論1、相続税法

1、消費税法1、固定資産税1  
○宅建士2  
○公務員試験  
国家一般職3、国税専門官2  
東京都庁（土木）1、東京特別区I類2、群馬県庁（行政）2、埼玉県

庁（行政）1、栃木県庁（土木）1、兵庫県庁（行政）1  
高崎市2、太田市2、伊勢崎市1、館林市1、渋川市1、大泉町1、玉村町1

### 合格者コメント

強い思いで目標目指して  
C・Iさん（2022年度 国家一般職合格）  
〈これから受験する人へ〉  
勉強をしていると合格できないかもしれないと不安になることがあると思います。私は既卒で仕事を辞めて初めての公務員試験でした。不安でしたが、不安に負けずに、決して勉強の手を止めることなく、最後までやり遂げてください。心を強く持って突き進むことで、不安なんて吹き飛ばしましょう。既卒でも、短期職歴でも、再受験でも、あきらめなければ合格できます。頑張ってください。

### お得な講座キャンペーン情報

公務員 春割キャンペーン  
対象：2024年合格目標 総合本科生 他  
期間：7月28日（金）まで  
・通学メディアの受講料が最大22,000円OFF！

### 資格・検定紹介

#### 「ライフサポート実用講座」

●人生100年時代を見据え、穏やかな生活や人生を過ごすために学ぶ「実用講座」を開講！

実生活に必要な知識、実用的な知識を実務専門家の方々の講義を通して学んでいただく講座です。

〈6分野のライフイベントに関する知識が身につきます！〉

- 複業（副業・起業・兼業）
  - ・発展させるコツおよび法律面での注意点を学習。
- 不動産
  - ・不動産の購入、売却、買換えまたは不動産経営において身に着けた知識を学習。
- タックスプランニング
  - ・複業、不動産経営などで避けられない税金の知識を学習。
- ライフデザイン
  - ・年代によりライフデザインはさまざま。将来の人生設計の描き方を学習。
- 知っておきたい知識シリーズ
  - ・株式投資、投資信託などの長期積立分散投資、生命保険や損害保険の知識を学習。
- 親子で学ぶシリーズ
  - ・お子さんやお孫さんから質問されて答えられていますか？算数数学、お金の知識を学習。